

# 社会福祉法人けやき福祉会

## 平成30年度事業報告

けやき福祉会設立20周年を締めくくりとして、20周年記念誌を発行することができ、一つの大きな節目を乗り越え、次に向かってのスタートラインにつく準備の年でもありました。

### 人材確保について

グループホーム「なでしこ」のスタッフ、「れすぱ」のヘルパー、「こんぱす」の相談員、「けやきの家」の支援スタッフ等の人材確保に向け、法人本部の支援部で集約して、あらゆる手段で募集をかけました。新たな職員を増やすところまでに至らず、足らないところの穴埋めを行えたというところで終わってしまいました。また、各事業所の収入増が見込めない中、働き方の合理化を図る工夫をしてきましたが、相変わらず「けやきの家」の超勤が多くあり、人件費の合理的な削減にはならず、大幅な赤字になってしまいました。この問題は、福祉経営的な視点から、管理者とともに打開策を講じなければならぬと思っております。

そんな中、各事業所においては、少しでも収入増ができる給付費の加算される項目に着目してまいりました。(れすぱ:職員研修の定例化、こんぱす:行動援護対象者における研修)

### 高齢者対象者に向けての整備

「れすぱ」の居宅サービスを利用されている人が65歳を迎えたことに伴い、老人福祉サービスもできる共生型サービス事業の申請手続きを行ってきました。

### 放課後等児童ディーサービス（日中一時支援サービスから出発）開所の準備

学校終了後の放課後等事業サービスをしてほしいという要望があり、また持家を提供するといいというお申し出もあり、特例的に開所できる準備をしてきました。

年度当初の事業計画には載っておりませんでしたが、今まで「れすぱ24」を利用されている方であり、サービスの提供が確保されること、また利用者さんにとっても負担軽減にもなることがわかり、早急に準備してまいりました。

放課後等児童ディーサービスの指定を受けるためには、体制が整えることができず、日中一時支援事業からスタートできるように準備しました。

### 「輪来工房」地元との覚書に調印

長年地元との協議ができないまま来ておりましたが、ようやく、建設に向けての覚書に調印することができました。今後は建設することを前提に協議を重ね、国の施設整備補助金申請に向けての準備に取り掛かります。

### 課題

働き方改革関連法が2018年6月に成立いたしました。その中で、パートタイム・有期雇用労働者に対する不均衡・不均等をなくすこと、合理的な労働時間の保証など、まさに働き方の改革が必要になってまいりました。この問題は、どこに無駄があるのかを職員全体が理解し、働きやすい環境づくりを整理しつつありますが、時間をかけて整理しなければなりません。

## 1. 法人全般

### (1) 特記事項

#### ①「安心」と「安全」なる支援サービスの構築

S K Pプロジェクトにより、各事業所間での共有した認識を確保する努力ができるような内部研修が企画され、3事業所で説明会を執り行いました。

(詳細はS K Pプロジェクト報告を参照。)

他方、支援のための職員体制については、慢性的な職員不足が続き、引き続き職員の募集に力を入れて参りましたが、残念ながら「なでしこ」の開所に至ることはありませんでした。引き続き求人に注力して参ります。

また、ドライブレコーダー設置による運転モラルアップにつきましては、一定の効果を得たものの、事故の撲滅には至りませんでしたので、更なる運転意識の向上に努めて参ります。

#### ②第2けやきの家「輪来工房」の農振転用手続

長きに亘り地元区との話し合いが平行線を辿っていましたが、弁護士事務所に仲介を依頼したことに加え、平成30年度の廻間区長の尽力もあり、施設建設の第一歩となる排水同意のための覚書を平成31年2月27日に取り交わすことができました。

今後、農振除外手続や農地転用手続を経て、管財人との間で当該地の売買契約を行い、廻間区の皆様との話し合いを重ねながら、事業化に向けて歩みを進めていきます。

#### ③経営企画委員会での事業計画を具現化

新たな生活介護事業新築に対しての予算化を図り、他の事業計画の積立準備金を整理すると致しておりましたが、残念ながら整理するまでに至りませんでした。

この件につきましては、引き続き31年度に再度整理を図ります。

#### ④個人保護法による個人情報保護規定の体制作りの具現化

モデル規程に準拠し個人情報保護規程の整備を行いましたが、作成した規程が法人の実態に合っているかの見直しまで至りませんでした。

規程の見直し及び職員教育について引き続き注力して参ります。

#### ⑤グループホームへのスプリンクラー設置

社会福祉施設等施設整備補助金（平成29年度補正予算分）の交付決定を受けたことにより、「ゆいま～る」「いまじん」「ひまわり」のスプリンクラーの設置を行い、既設のグループホームへのスプリンクラーの設置が完了しました。（以下、（2）①を参照。）

### (2) 助成・寄付関係

#### ①助成に関する特記事項（いざれも、社会福祉施設等施設整備補助金）

「ゆいま～る」スプリンクラー設備設置工事 ￥1,903,000 (￥3,596,400)

「いまじん」スプリンクラー設備設置工事 ￥2,197,000 (￥3,693,600)

「ひまわり」スプリンクラー設備設置工事 ￥3,199,000 (￥4,320,000)

※ 補助金総額 7,299,000円 総事業費 11,610,000円 自己資金 4,311,000円

②寄附金に関する事項

受入先	金額 (件数)
法人本部拠点区分	¥ 130,000 (4 件)
けやきの家拠点区分	¥ 75,000 (2 件)
ホーム拠点区分	¥ 120,000 (2 件)
れすぱ24拠点区分	¥ 76,000 (20 件)
合計	¥ 401,000 (28 件)

助成金・寄附金を頂いた個人並びに諸団体に厚く御礼申し上げます。

(3) その他

(ア) 理事会、評議員会等

①理事会：4回開催

②評議員会：3回開催

③監査：内部監事監査1回 (H30.6.11)

：行政指導監査2回

(H30.4.25) →なでしこ建設による指導監査 (中間・竣工)

(H30.12.6) →春日井市による法人本部に対する指導監査 (運営・会計)

(イ) 各種規程類の改正

① 定款改正 (H31.2.27 春日井市承認)

② 定款変更 (H30.12.17 春日井市受理)

③ 「経理規程」改正 (H31.3.29)

④ 「給与規程」改正 (H30.6.28 及びH31.3.29)

⑤ 「業務管理体制整備規程」改正 (H31.3.29)

⑥ 「資格取得貸与規程」(常勤) 改正 (H31.3.29)

⑦ 「資格取得貸与規程」(非常勤) 新設 (H31.3.29)

⑧ 各事業所「運営規程」改正 (隨時)

### 平成 30 年度評議員会

開催年月日	出席者 定数	決議事項	理事出席者
H30. 6. 28	5名 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度 事業報告 (案) の審議・承認</li> <li>平成 30 年度 決算報告 (案) の審議・承認</li> <li>グループホームのスプリンクラー工事に係る入札</li> <li>給与規程の改正</li> </ul>	山縣紀子 大西晃則
H31. 2. 20	6名 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>定款の変更</li> <li>各拠点区分の補正予算 (案)</li> <li>各種規程の改定・新設</li> <li>弁護士事務所との顧問契約</li> </ul>	山縣紀子
H31. 3. 29	5名 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度最終補正予算 (案)</li> <li>平成 31 年度事業計画 (案)</li> <li>平成 31 年度当初予算 (案)</li> <li>給与規程の改正</li> </ul>	山縣紀子

### 平成 30 年度理事会

開催年月日	出席者 定数	決議事項	監事出席者
H30. 6. 13	4名 6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度 事業報告 (案) の審議・承認</li> <li>平成 30 年度 決算報告 (案) の審議・承認</li> <li>グループホームのスプリンクラー工事に係る入札</li> <li>定時評議員会の招集について</li> </ul>	沖高司
H30. 10. 9	6名 6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームへのスプリンクラー設置に係る落札業者との契約締結</li> <li>弁護士事務所との顧問契約</li> <li>会計事務所とのアドバイザー契約</li> <li>行政書士事務所との契約</li> <li>設計監理事務所との契約</li> </ul>	沖高司 花井謙造
H31. 1. 28	5名 6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>定款の変更</li> <li>各拠点区分の補正予算 (案)</li> <li>臨時評議員会の開催</li> </ul>	沖高司 花井謙造
H31. 3. 16	4名 6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度最終補正予算 (案)</li> <li>平成 31 年度事業計画 (案)</li> <li>平成 31 年度当初予算 (案)</li> <li>給与規程の一部改正</li> </ul>	沖高司 花井謙造

## 2. 「けやきの家」活動報告

30年度は、新たなスタッフ体制の下、昨年度確立された支援方針に沿い、高齢化や活動の見直しなどを進めるにあたり、利用者一人ひとりの状況などを再確認する一年となりました。

### **(1) “一人ひとりが輝く”・“利用者の自立を促す” 実践の追及**

新たなスタッフ体制の下、支援方針に沿い、その実現に向けて活動の見直しや高齢化対応などを進めていきました。しかし活動の見直しについては、現状のスタッフ体制の下、「チームとしてしての支援」「利用者への的確な理解」「高齢化に伴う医療的な知識」など、見直すうえでの課題が多く浮き彫りになってきました。日中活動事業所としての活動の在り方が問われ始めてきており、「何をするのか」は大切ですが、それ以上に「何故するのか」を再度確認することが求められてきています。その点を踏まえた上での活動の見直しや高齢化対応などが、次年度においても引き続き検討されるべき課題のように感じます。

また外部研修への参加においては、個別には参加できているものの、決して事業所として統一した支援力・力量アップにはつながっているとは言えません。

### **(2) 「地域で生活し続ける」サービスの充実にむけて、医療スタッフの充実**

利用者・家族・スタッフにとって安心・安全な環境・支援が提供できるよう、医療スタッフの充実（看護師の日常的な配置）に努めました。また法人内での他事業との連携においても、情報の共有化も進み、法人組織としての健康管理の仕組みが機能し始めてきています。

### **(3) 施設本体のメンテナンス・送迎サービス提供の見直し**

既存の施設も、築20年に近づこうとしている中、大規模なメンテナンスが求められてきています。安心・安全な環境を提供するうえで補修工事を計画的に進めることができます、予算の都合上次年度に見送りとなりました。

またマイクロバスによる送迎サービス業務を、一部外部委託することにより、安定したサービス提供ができるよう、整備しました。

### **(4) 第3の活動場所「働く場」の検討・準備**

日中活動の新たな場所としての「働く場」について、現在活動として行っている「元気ショップ」やケーキ作りを中心とした働く場について、計画案を模索しました。

### **(5) スタッフの「働く環境」整備**

スタッフが安心・安全な職場環境において支援することが、利用者の安心・安全にも大きく繋がってきます。法人全体での勤怠管理とも連動したうえで、非常勤スタッフの休憩時間の整備については、現状の見直しを進めました。しかし一方では、愛知県の最低賃金見直し率への対応もあり、現状においては最低賃金スタートの設定となっています。安定したスタッフ確保を目指すうえで、法人全体における非常勤スタッフの賃金見直しや、またそれにかかる財源の確保など、早急な対応が求められています。

# 平成 30 年度「けやきの家」各種人数統計

## (平成 31 年 3 月 31 日現在)

### 1. 利用者数

男 性	34
女 性	15
合 計	49

### 2. 障害支援区分

程度区分	男性	女性	合計
区分 6	15	9	24
区分 5	17	5	22
区分 4	2	1	3
合 計	34	15	49

### 3. 年齢構成

	~19 歳	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳～	合計
男 性	1	7	4	19	1	1	33
女 性	0	2	8	6	0	0	16
合 計	1	9	12	25	1	1	49

### 4. 出席率など

#### (1) 利用者数

対象月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間延
延利用者	956	987	991	1000	944	829	1046	1035	905	829	854	930	11306

#### (2) 利用率

対象月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
出席率	0.956	0.940	0.944	0.952	0.944	0.921	0.950	0.986	0.972	0.890	0.917	0.949	0.943

#### (3) 常勤換算

対象月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
換算率	2.183	2.049	1.953	1.838	1.953	2.118	1.766	1.818	2	2.058	1.968	1.891	1.968

### 実習生・ボランティア受け入れ日数（人数×日数）

	ヘルパー	養護学校生 体験実習	新規利用者 体験実習	介護等体 験実習	ボランテ ィア	ボランティ ア(分場)	採用前 体験実習	合計
4月					4	4		8
5月					5	4	11	20
6月					4	3	5	12
7月					4	4	3	11
8月					4	3		7
9月				23	4	4	2	33
10月				22	6	4	4	36
11月					4	3		7
12月					4	4		8
1月					4	4		8
2月					4	2		6
3月					4	3	2	9
合計		0	0	45	51	42	27	165

### 見学者総数

	保護者	施設関係者	学生	教員	団体	障害者	採用前見学	合計
4月							2	2
5月							3	3
6月							3	3
7月	3						1	4
8月			9					9
9月								0
10月								0
11月								0
12月								0
1月								0
2月							1	1
3月							2	2
合計	3	0	9	0	0	0	12	24

## ヒヤリハット報告

平成30年度のヒヤリハットですが、件数的には例年とさほど変わらない件数でしたが、その内容においては「利用者さんの特性の把握」の不足ややそれらに関する情報の共有化不足、またチームによる共通認識不足などが顕著に伺えました。

ベテラン職員の退職などもあり、新たなスタッフ体制のもと始まった平成30年度でしたが、特に行動上の支援の必要な利用者さんにおける「特性把握の不足」・「利用者さんの情報法の共有化」、そしてそれらの情報をもとにした「チームとしての共通認識不足」などが複数のヒヤリハットに共通してみられるポイントでした。そのため次年度においては、改めて活動・スケジュールの見直しが進めていくとともに、利用者一人一人の特性把握、そしてスタッフ全体によるチームケアの認識を高めていくことが求められます。そしてこれまで以上に、スタッフ間での様々なミーティングが常態化されていくことも求められます。

また件数としては多くはありませんが、利用者さんの高齢化に伴う様々な身体症状やメンタル面の不安定感も見受けられてきています。直接的なヒヤリハットには結びついていないケースにおいても、日頃より家庭・グループホームをはじめとした他事業所との情報の共有化がさらに求められるとともに、看護師を中心とした医療面からのサポートについても、さらに強く連携が求められます。

## 平成30年度 ヒヤリハットまとめ

月日		内容		予防策
4月4日	水	ふれあいの森でKさんを見失う	ふれあいの森の展望台コースで展望台に向けて温泉プールから利用者4名スタッフ2名で出発した。時間調整の為引き返し始めたが途中利用者1名の座り込みや靴の投げ捨てなどに気を取られている間に他の1名が先行し往路と別ルートから引き換えしスタッフは気が付かず往路のルートを追いかけて駐車場へ戻った。少し時間が立った時に不明利用者が別ルートから駐車場に戻ってきて発見した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極力先頭をスタッフより前に歩かせない。</li> <li>・別ルートがある場合は離れない様にする</li> <li>・スタッフ同士で声を掛けあい利用者が一人にならない様にする</li> </ul>
4月10日	火	Tさんが尻もちをつく	二階で取り組みの為、一階から移動の際手すりを持ってもらう様にTさんに伝える。手すりを持とうとして持ちそこねバランスを崩し階段で尻もちをつく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脇に手を添えていたが…。</li> <li>・転びやすい人という意識を持つ。</li> </ul>
4月23日	月	Aさん、Mさん、Oさん、Iさんがパニック、脱走する	0さんが持ってきた広告をめぐって、0さん、Aさんが取り合いのいざこざに発展。Aさんが0さんに掴みかかろうとしたので止めに入ったところ、大パニックに発展。Aさん対処中にMさんが岩舟敷地外に移動。スタッフ一人での対応中だった。スタッフがもう一人合流後、敷地から出て行ったMさんと合流。その後も午前中の間はIさんが無差別につかみかかりに行く状態に陥る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人での見守り体制にならないようにする</li> </ul>
5月1日	火	Aさんが送迎時に車のドアを開けた	助手席に座っており、自宅付近を走行中に、ドアを開ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅付近の向かう際は後部座席に座つてもらいチャイルドロックをする</li> </ul>

月日		内容		予防策
6月8日	金	Sさんが少年自然の家で車いすから転倒	入所式終了後車いすに乗って車へ移動中、スタッフの不注意により車いす左前輪がスロープから落ちてしまいそのまま体のバランスを崩し頭から転倒する。二人かかりすぐに車いすに乗せ傷を確認する。救急車を呼び病院に運ばれ緊急外来で見てもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす誘導時足元を確認する。</li> <li>・体を固定出来るずり落ち防止のベルトを検討する</li> <li>・車いすにしっかりと座っているか確認する</li> </ul>
6月11日	月	けやきの駐車場でY[さんが転倒	Yさんが乗る予定の車ではない車両に乗ろうとするので乗らない事を口頭で伝える。ドアの取っ手から手を離さないのではなくてもらう様に伝えるが、それでも離さずバランスを崩して頭がドアにぶつかる。その後地面に膝をつき膝を擦りむく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・止めるのではなく、予定の車に誘導する。それでも嫌なら車に乗ってもらう</li> </ul>
7月5日	木	Nさんの腕をIさんがひっかく	焼山公園でコーヒーを飲む為に東屋に集まり、Iさんが騒がしい声にイライラして近くにいたNさんの腕をつかみひっかく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イライラしている時は、集団行動しない</li> </ul>
7月5日	木	下着に排便していたのに気が付かずNさんが帰ってしまった	けやきに来所してから、帰宅までに排便していた事に気が付かず、ホームに返してしまう。一緒にいたが、排便臭には、気がつかなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレに行ったら下着を確認する</li> </ul>
7月6日	金	FさんがNさんの腕に爪を立てる	仲間3人、スタッフ3人で足湯をしている時足湯を終えた直後のFさんが急に向かいで足湯中のNさんに歩み寄って行きNさんの右腕に爪を立てる。朝からテンションが高く一瞬の事で止める事が出来なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンションが高い時は特に目を離さない</li> <li>・仲間との間を開ける様にイスを並べる</li> <li>・スタッフで仲間の体調状態の情報を共有する</li> </ul>
7月9日	月	Eさんが、雨で滑って尻もちをつく	送迎車に乗り込もうとしていた。雨で濡れていた為滑った模様。リュックの重みもあり後ろにコロンといく。右手小指側の手のひらが少しだけ擦りむいていた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車への乗りこむ時は、スタッフが付き添う</li> </ul>
8月10日	金	Iさんが岩船のガラスを割る	14時頃、離れて寝転んでいたIさんが外の声が騒がしい為か何度も入り口のドアを開閉していたが急にドアを閉めてガラスを左手で割ってしまう。短時間で水を飲んだり落ち着かない様子。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団から離す・他の取り組みの人と連携する</li> </ul>

月日		内容		予防策
8月23日	木	Sさんが食事中に喉を詰まらせる	13時半頃、食堂で海藻サラダを食べている時にワカメが喉につまる。顔が真っ赤になり目が充血してかなり咳き込む。対応として、前傾姿勢が自分で取れない為スタッフが前に傾け、もう一人のスタッフが背中をたたく。	・葉物類、生野菜は提供しない
8月31日	金	けやきの家の駐車場で車両がスタッフにぶつかる	バック中後方にスタッフと利用者がいるのに気がつかず、バックしてスタッフの手に当たる	・スタッフ同士声を掛けあう
8月31日	金	職員がHさんに殴られる	岩船神社へ散歩中急に走りだし「メガネ、ダメ」という質問に対してダメと答えると鎖骨当たりを殴られる。イライラしていたので、リフレッシュの為散歩に行く道中の事。	・Hさんの特性を把握しておく
9月7日	金	Iさんをトイレに置いてきてしまう	どんぶり会館到着後皆で順番にトイレに行く。その後地下テラスへ移動し昼食を食べる準備をしていた。そして、給食を食べる段階になってIさんがいない事に気が付く。そこで初めてIさんをトイレに置いてきてしまった事がわかる。慌ててトイレに見に行くも居らず館内を探していたら二階のレストランで座っているのを発見。	・次の行動する時は必ずメンバーが全員いるか確認する。
9月10日	月	わだちのブロック塀にセレナをぶつける	送迎の為にわだちに到着して駐車するが対向車が来たので、バックして対向車をかわそうとバックしたら、わだちのブロック塀に接触した。	・注意を怠らない
10月2日	火	Iさんが岩船のガラスを割る	13時頃一人離れに入っていて突然窓ガラスを叩いて割ってしまう。朝から床を叩いたりしている。	・部屋に入る時は落ち着いてから入ってもらう ・割れにくい窓にする ・連携をとる

月日		内容		予防策
10月2日	火	Uさんが廊下で倒れていた	けやきの二階廊下で倒れているのを発見する。食堂を背中に右を下に倒れていた。すぐに怪我などを確認するが異常なし。近くに利用者がいたので確認すると、「Mさんがハグしたから」と教えてくれた。	・利用者の特性を知る ・当日のスケジュールを把握する
10月4日	木	Tさんが首からコードをまいて遊んでいた	音楽の時間に二階から降りてきた時に首に延長コードをまいているのを発見。ピアノの前に座り、コードを触ったりひっぱたりしているうちに首に絡まってきた。	・コードを巻いていたらはずす ・本人の特性を掴む。
10月5日	金	Nさんが開けた車のドアがAさんにぶつかる	ハイエースにてけやきの駐車場に入る。横にリフトが止まっていた。Aさんがすぐに降り、けやきへ向かう途中にNさんがドアを開けぶつかる	・チャイルドロックをかける ・Nさんがすぐ開けない様する ・開けても対応できる様にスタッフを呼ぶ
10月11日	木	Kさんが車の近くに石を投げる	岩船神社にて、エスクワイアを待っている間のハイエースに乗つて待っている際Iさんが不調になりスタッフと散歩に行く。その後をMさんも追いかけたのでスタッフが追いかける。その際にKさんも車外に出て道路にめがけて石を投げ走行中の車両に当たりそうになる。	・チャイルドロックをかけて車外に飛び出さない様にする
10月15日	月	Kさんがスタッフを押してUさんも倒れる	Kさんがスタッフに、スタッフのバイクが変わった事を伝える。上手く伝わらずスタッフを手のひらで押す。スタッフが背中から倒れ、手を繋いでいたUさんも倒れる。	・利用者の特性を知る
10月18日	木	岩船で車両を丸太にぶつける	岩船ハウス敷地内にて、ハイエースでバックする。普段は置いていなかった丸太に気が付かず下右あたりをこする	・後方のみではなく、下も確認する
10月18日	木	岩船区面ポールを折る	後進で車を岩舟内に入れようとした所草むらに脱輪する。切り戻し前進した所区面ポールに乗り上げました。	・注意する

月日		内容		予防策
10月 25日	木	0さんが水とビーズが入った楽器の水を飲んでしまう。	けやき玄関横の三角コーナーで大野さんが座っており、ペットボトルに口をつけているのを見つける。実際に飲んだかは不明。	・環境整備をする・
10月 25日	木	Yさんが閉めたドアにスタッフの手が挟まる	16時前にハイエースの助手席にTさんが乗り込むのをスタッフが見守り介助していた。その時にスタッフの右手が助手席と後部座席の間の柱をつかんでいる。急に後部座席のドアをYさんが閉めてきたのでドアにスタッフの右手甲が挟まれた。	・危ないので車のドアの開け閉めは遠慮してもらう ・ドアの近くにいる時はスタッフが注意してみておく ・ケース会議を行う
11月 21日	水	Mさんが転倒して左膝の下を擦りむく。	築水池の小屋までの道中、最後尾を歩いていた。Mさんが歩いていたが突然転倒。砂利で滑ったのか、つまずいたのかは不明です。	・散歩時は、手荷物を置いてもらう。
12月 5日	水	Yさんがミニカーを投げた	外のベンチに座るように声掛けすると、自分が座りたい所にUさんとスタッフが座っていた為、「どいてほしい」と怒り始め、突然ミニカーを投げつけた。幸い二人には当たらず後ろの壁に当たった。	・硬くて危険な物は持たせない。
12月 11日	火	Aさんを見失う	小牧ふれあいの森でAさんとスタッフの二人で散歩をしていた。Aさんが後ろから着いてくると思っていたが、振り向くといななかった。途中分岐点があった為スタッフと別のルートを通り車に戻ろうとしていたのではないかと予想し、合流時点で待つ。	・分岐点では立ち止まり、着いてくるか確認する。
12月 13日	木	けやき駐車場で車をぶつける	玄関前から車でバックで出ようとしていた為、バスの駐車スペースにバックした。車止めでストップすると思ったが車止めと車止めの間に車輪が入ってしまいバックし過ぎの結果となつた	・後退時の後退確認を十分に行う

月日		内容		予防策
12月13日	木	小牧市民プールに忘れ物をする	取り組みのプールを終えけやきに到着すると、Nさんのヘッドフォンがない事に気が付く。どこで紛失したのかわからず。けやきと小牧市民プールを探すがどこからも出てこない	・忘れ物がないか確認する
12月19日	水	Aさんが掴みかかる	Mさんの「んー」という声がずっと出ており、その声にイライラしたAさんが近くに来たMさんの顔に掴みかかった。Mさんの声は午前中から出ており昼食後もAさんは声を気にしていた。	・Mさんの声が出ている時Aさんの状態に注意し、二人を近づけない様にする

月日		内容	予防策
12月20日	木	Kさんが転倒	<p>運動メンバーで外でボール遊びをしようとしていた。KさんはドアマンをしているYさんに声をかけていて、Kさんもそれに交ざろうとしたのか、靴下のまま近づこうとしていた。10:05 後ろへ転倒滑ったのか、階段を踏み外したのかはわからず本人すぐ、立ち上がったので、一回座ってと声をかけると座ってくれる。「どこが痛い?」とに頭を抑えたのですぐに確認。赤みや腫れ、出血はない。コンクリートの上で寝ころぼうとしたので、床暖の上にスタッフが運ぶ。すぐに看護師に見てもらい、意識もはっきりしているので大丈夫だろうと。頭は、本人が手を当てたところに保冷剤をする。狭いところで寝ころぼうとするので「たたみに行こう」と声をかけると自分で立ち上がり、歩く。背中、足、お尻確認。あざ・赤み・傷見当たらず。10:12 血圧95/56いつもと同じくらい。保冷剤は30分ぐらいで本人がいらないという。泣いたり、痛い、怖いと何度も言う。スタッフが近くに座っていると腕枕をしてもらおうとしてきたり、笑顔も出てきて落ち着く。スタッフが離れようとするとき首を横に振ったりしていた。10:35 電話してきていい?に「うん」と言ってくれたので職員の電話。10:40 父に電話。様子が変わったら病院に行くことにする。10:50 もう一度背中・お尻・足を確認。10:55 自分で起き上がり座る。座っていた。11:00 他の人が散歩に行こうとしていたので「行く?」に自分で立ち上がり、散歩に行く。給食もゆっくりだが完食。13:30 お尻が痛いと言いに来る。トイレで確認。お尻の左側が痛いとの事。アザなし。15:30 もう一度後ろ側確認。アザなし。お尻はちょっと痛い。との事。</p> <p>テンションが高いときは注意する</p>

月日		内容		予防策
1月22日	火	Tさんが転倒する	朝来所してから、粘土室へ。本人車イスを取りたかったよだつたが、行くて手を止められる。その際、左側から倒れる。	利用者の特性を伝え、対応方法を知る
1月24日	木	Iさんが居なくなった	小畠緑地公園で散歩して休憩。その後再出発している際に人数を確認している際に人数を数えたらIさんの姿がいなかった。	目を離さない
2月6日	水	昼食にビニール片が入っていた	昼食中、お味噌汁を飲んでいたら、口の中にビニール片があり口から出しました。厨房スタッフに伝えビニール片を渡す。	厨房に二度とないように伝える
2月7日	木	Mさんが居なくなった	公園にて、外出組(利用者7人中1人)と休憩中にいなくなる。探して、散歩コースのはじめあたりにいた。おそらく、他の施設の団体と一緒にについていってしまったと考えられる。	目を離さない
2月13日	水	Kさんがスタッフの眼鏡を踏み、壊す	元気牧場へ車で移動し、降りる時池のそばで子供会がシートを広げている集団に近づこうとしていたので、止めると職員の眼鏡をたたき落とし、眼鏡を壊す。	原因が不明の為、車から降りる順番などを配慮する。
2月20日	水	Sさんが落馬	元気牧場で牧場主が馬の手綱を持ち、職員が馬の左側につき、Sさんのズボンの上部を持って歩行中Sさんが馬から滑り落ちる。Sさんの上部は馬に密着しておりそのまま横に落ちた。落馬したスピードは緩やかであった。職員がトイレにてケガの確認したが、けがはなかった。車まで普通に歩き乗車した。Sさんは馬の上でテンションが高かった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのスタッフ牧場側のスタッフ不足がひとつ</li> <li>・利用者の状態を見て、乗るかを判断する</li> </ul>
2月27日	水	Kさんがしりもちをついた	植物園で車から降りようとして手を引っ張たら座席シートから降りるときにしりもちを着いた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応の仕方を考える</li> <li>・いつもと違う取り組みの時は、りょうしゃにも変化が出るので、職員がパートさんにフォローをいれる。</li> <li>・まかせっきりにしない</li> </ul>

月日		内容		予防策
2月28日	木	Mさんが女性のアイスを奪い食べてしまう。	福祉の里でビデオ鑑賞の為出掛ける。二台の車両がそろい下車に移った時にMさんだけが、先に福祉の里に走ってしまい、地下階にある売店に行き近くでアイスクリームを食べている女性のを取り上げて食べてしまう。	少人数動く。当日の動きをスタッフで共有して、その日の利用者に合わせて支援する。
3月1日	金	Aさんの服薬忘れ	四季の森で過ごす。昼食後、いつもの様に服薬してもらおうとするが、拒否強く手に乗せても飲まず嫌がった為もう一度預かり時間をおいて飲むことにする。その後、別の利用者の服薬をしたためAさんも飲んだと思い込んでしまった。	スタッフと確認しあう
3月6日	水	Mさんが物を取ろうとする	スタッフがHさんの買い物を待っている間に色々な物を見て回っている間にスカートのポケットに入れようとした。	買い物中は目を離さない
3月11日	月	Mさんがガラスで手を切る	朝からドアを叩いていたので、違う場所にいてもらうが11時40分頃に昼食を食べる直前にドアの近くにいき叩くとガラスが割れて手を切ってしまう	・ガラスを無くす
3月15日	金	Mさんが岩船から脱走する	職員2名で利用者3名の支援中Mさんが離れの方に移動し脱走する。すぐに気が付き見に行くが本人の確認あ出来なく、岩船神社方面へ職員1名が行くと走っているMさんを発見する。	

平成 30 年度 授産会計 収支報告書

月	前月からの繰越	収入	支出	残高
4月	1,319,354	43,540	128,357	1,236,897
5月	1,236,897	47,060	124,906	1,156,691
6月	1,156,691	92,040	136,065	1,112,666
7月	1,112,666	144,050	184,181	1,072,535
8月	1,072,535	110,385	64,615	1,118,305
9月	1,118,305	68,600	125,131	1,061,774
10月	1,061,774	87,350	181,168	967,956
11月	967,956	376,260	65,985	1,278,231
12月	1,278,231	238,585	379,758	1,137,058
1月	1,137,058	283,641	187,330	1,233,369
2月	1,233,369	196,124	218,169	1,211,324
3月	1,211,324	224,560	119,256	1,316,628
合計		1,912,195	1,914,921	

平成 30 年度 授産会計収支報告書（業務別）

	元気ショッピ		学童おやつ		薪		その他	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
4月	35,140	83,760	4,800	6,502	2,000	26,798	1,600	8,937
5月	36,160	42,986	6,000	29,402	2,500	24,817	2,400	30,061
6月	39,790	25,035	44,500	65,461	5,000	29,033	2,750	16,536
7月	33,100	79,700	56,800	48,898	50,200	38,939	3,950	16,644
8月	38,530	15,575	67,100	8,399	2,500	2,698	2,255	37,943
9月	35,000	55,404	3,600	16,193	28,500	9,031	1,500	44,503
10月	38,700	34,727	6,000	26,774	31,000	24,084	11,650	95,583
11月	47,810	25,609	50,000	0	226,750	22,290	51,700	18,086
12月	47,950	54,131	61,600	19,489	103,000	40,590	26,035	265,548
1月	36,200	37,071	36,300	52,851	182,900	44,839	28,241	52,569
2月	41,520	57,143	49,300	18,724	98,500	99,820	6,804	42,482
3月	45,410	36,598	43,800	20,270	124,400	17,462	10,950	44,926
合計	475,310	547,739	429,800	312,963	857,250	380,401	149,835	673,818
収支合計	-72,429		116,837		476,849		-523,983	

### 3. 共同生活援助事業所（けやきホーム）

#### 事業目標

「利用者さんことをみんなで話をする。」

#### 運営方針まとめ

##### 1 事業所を2つに分ける

事業所を2つに分けることは、基本報酬単価が減算されることから、他の補助金が入る方法を検討した結果2つに分けるということでした。年度当初に2つに分ける準備を行うと、また新たな事業所登録の申請が必要なことが分かりました。過去に2つの事業所登録をしていた、「第2けやきホーム」の廃止届を出したことにより、新しい事業所登録の申請が必要になりました。新しく事業所登録をする場合には、少なくとも数か月前から県のほうにアポイントメントをとり、事業所登録の経緯等説明が必要になります。また、そのアポイントメントをすぐに予約は取れず数か月待ちになる場合があることも分かりました。

会計処理上も2つに再度分ける場合には、それなりの準備等が必要になり改めて2つの事業所を分けることについて再考することになりました。

A. 基本報酬単価が減算される代わりに、地域区分の見直しがあり共同生活援助事業所は前年度より若干ですが加算されることが5月以降の県の集団指導にて明確になりました。それにより、予算当初より減収幅は少なくなりました。

そのことと、共同生活援助事業所のサービス管理責任者の配置基準を踏まえ2つの事業所に分けることは、「なでしこ」の開所に合わせて行いそれまでは1つの事業所で運営をしていくことに、修正をしています。

B. 利用者30名に対して1人のサービス管理責任者の配置基準になっています。現在「けやきホーム」では27人の利用者さんがいます。そこに「なでしこ」の4名が加わると30名以上になるので、その際には、サービス管理責任者が2人必要になります。また、管理者も1事業所に1人の配置が必要です。管理者が2つの事業所兼務を行うことは、可能ですがけやきホームは現在、管理者がサービス管理責任者の兼務をしていることから、2つの事業所に分ける場合には、管理者・サービス管理責任者の配置についても検討課題になります。現在の人員では新たに管理者若しくはサービス管理責任者の配置を考えることが非常に厳しくなっていることから、2つの事業所には分けずにいる現状になっています。

C. 30年度の収支について（別紙1～3 参照）

サービス収入費のみだけでも、8千万円を超えており結果的には29年度と比べるとサービス収入費のみだけでも増加になっており、1事業のままでも減少にはなっていません。サービス収入費が加算された要因は、1人1人の利用率が上がっている点・加算対象なる「重度加算」の対象者が増えた点・とれる加算をとれるように加算申請をその都度行った点が要因と考えられます。

以上の点より 2 つの事業に分けることは本年において見送ることになりました。「なでしこ」を開所した場合には、「管理者」「サービス管理責任者」の配置問題もあり、しっかりとした運営分析・経営分析を行い今後事業所体系がどの体系がいいのか? 考案していく課題は残したままとなっています。

## 2 「利用者さんことをみんなで話をする」(別紙 4~6) 参考 1~7

この運営方針は、今年度 1 年間の事業所の目標にも設定して運営を行ってきました。具体的な内容は、月末に行っていた「世話人会議」を「ホーム担当者会議」に名所を変更して、議題内容も「ケース会議」「自分たちの勉強会」に変えてまずは、ホーム正規職員間のより一層な共有化を図り、そのことをホームスタッフに伝えていく意図にて行いました。

また、ホーム会議では「ヒヤリハット・インシデント報告」の詳細をより強化し、近況報告も含ませて行い、ホームスタッフ全員で 1 人 1 人の利用者さんことを分かるように努めています。

推進会議では、「365 日新体制のホームづくり」において、職員体制の課題を議論する際、候補者を仮定して利用者さんの現状の家庭環境やホーム生活態度等を議論することにより、「利用者さんことをみんなで話をする。」意識を持つことに力を入れてきました。

特に「ホーム担当者会議」では、スタッフ自ら、話したいケースや勉強したい内容を自分で調べてみんなとその成果を話しあうようにいたしました。ここでより深く利用者さんことを話し合う場としては、よかったですと感じられる 1 年でした。

今後はこのように利用者さんことをみんなで話をする機会を増やしそれを共有していくことが、より良い支援につながっていくと考えています。

## 3 運営規程の見直し

運営規定の文言を現状に合わせて修正を行いました。また今後第 1 けやきホーム、第 2 けやきホームと事業所に分けても「けやきホーム運営規定」として合理化を図っていきます。

## 最後に

住人さんにとっての生活の場である、グループホームはここ近年親との別れによりホームだけが生活の場になる方が出てきています。そのための人員配置のための人材不足は、今年度も解消できずにいます。その中でも今いるスタッフが協力しあいっていることが現状です。けやき福祉会では、「働き方改革」を進めてはいますが、急速な人財募集が不可欠になっています。

昨年多かった誤薬のヒヤリハット・インシデント報告が激減しています。要因はまず法人の委員会でもある「健康委員会」が主体となり、服薬における注意喚起や薬変更における迅速な情報共有

等により、スタッフの服薬における意識改革があったことが要因とあげられると思います。また、ホーム会議の場合においても、薬関係のヒヤリハット報告が上がるたびに、服薬時の確認の仕方を確認しあったこと・看護師における薬1週間分の振り分けを依頼（すべての利用者さんではない）したことで、より多くの人が絡んだチェック機能が構築されつつあることも要因となっています。

「しらかば」週1回の泊りが始まり少しずつ泊まれる曜日を今後は増やすこと・「なでしこ」については、早く開所ができることも含め多くの人財が必要になっています。

第1けやきホーム利用月 H30年度 年間

	利用日数	共同生活	夜間日数	夜間支援	夜間日数	夜間支援III	帰宅加算回数	帰宅	重度加算	入院	福祉専門職	処遇	基本合計	自己負担額差引後の給付費合計	加算土日祝	生活介護補助金	家賃補助	
第一 ホーム	288	190,368	235	78,960	0		75	2,836	95040	0	2016	19,950	4,078,501	4,078,501	50	110,500	120,000	
	292	193,012	239	80,304	0		73	2,810	0	0	2044	15,031	3,072,746	3,072,746	52	114,920	120,000	
	289	191,029	237	79,632	0		76	2,876	0	0	2023	14,890	3,043,916	3,043,916	51	112,710	120,000	
	283	154,801	232	77,952	0		82	3,103	0	0	1981	12,854	2,627,241	2,627,241	48	106,080	120,000	
	295	194,995	241	80,976	0		70	2,809	106200	0	2065	20,911	4,275,378	4,275,378	53	117,130	120,000	
	294	194,334	241	80,976	0		71	2,810	0	0	2058	15,140	3,094,932	3,094,932	52	114,920	120,000	
	294	160,818	241	80,976	0		71	2,810	0	0	2058	13,330	2,724,716	2,724,716	52	114,920	120,000	
	282	186,402	217	72,912	0		83	3,143	43920	0	1974	16,662	3,406,136	3,406,136	48	106,080	120,000	
	293	193,673	240	80,640	0		72	2,810	0	0	2051	15,086	3,083,844	3,083,844	52	114,920	120,000	
	290	135,430	237	79,632	0		75	2,997	0	0	2030	11,894	2,431,181	2,431,181	52	114,920	120,000	
	239	130,733	185	62,160	0	62,160	115	4,148	0	0	1673	10,753	2,195,214	2,195,214	11	24,310	120,000	
	287	189,707	235	78,960	0		78	3,022	0	0	2009	14,789	3,023,343	3,023,343	51	112,710	120,000	
第二 ホーム	364	240,604	316	106,176	0		0	1	0	75960	0	2548	22,965	4,697,691	4,697,691	121	267,410	120,000
	250	136,750	204	68,544	0		0	115	4,369	0	0	1750	11,426	2,335,352	2,335,352	46	101,660	120,000
	292	159,724	239	80,304	0		0	73	2,997	0	0	2044	13,244	2,707,120	2,707,120	51	112,710	120,000
	295	194,995	242	81,312	0		0	70	2,623	106200	0	2065	20,918	4,277,024	4,277,024	54	119,340	120,000
第三 ホーム	348	176,516	290	97,440	31		310	17	935	0	0	2436	14,992	3,066,751	3,066,751	106	234,260	120,000
	341	186,527	288	96,768	0		0	24	1,309	0	0	2387	15,496	3,170,063	3,170,063	99	218,790	120,000
	344	188,168	291	97,776	0		0	21	1,122	0	0	2408	15,630	3,197,489	3,197,489	102	225,420	120,000
	338	223,418	283	95,088	0		0	26	1,309	0	0	2366	17,399	3,558,798	3,558,798	98	216,580	120,000
第四 ホーム	187	123,607	54	18,144	0		0	168	5,655	0	0	1309	8,060	1,643,002	1,643,002	2	4,420	120,000
	189	124,929	54	18,144	0		0	166	5,575	56160	0	1323	11,160	2,277,209	2,277,209	2	4,420	120,000
	189	124,929	54	18,144	0		0	166	5,575	0	0	1323	8,128	1,656,877	1,656,877	2	4,420	120,000
	169	111,709	48	16,128	0		0	186	6,375	0	0	1183	7,341	1,495,873	1,495,873	2	4,420	120,000
第五 ホーム	364	199,108	338	113,568	0		0	1	0	0	0	2548	17,024	3,481,959	3,481,959	110	243,100	120,000
	258	120,486	206	69,216	0		0	100	3,962	0	0	1806	10,574	2,159,341	2,159,341	19	41,990	120,000
	329	179,963	328	110,208	0		0	0	0	0	0	1683	2303	15,886	3,249,250	3,249,250	117	258,570
	7,683	4,606,735	6,015	2,021,040	31		310	2,075	77,980	483,480	1,683	53,781	391,533	80,030,947	80,030,947	1,503	3,321,630	3,240,000

## 平成30年度 各会議一覧表（別紙4）

日程	時間	会議名	内容	出席
4月5日（木）	11:00～ 13:00	推進会議	今年度ホーム体制について	ホーム正規職員6名 全員参加
4月10日（火）	10:30～ 12:00	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告	ホーム正規職員と夜勤者6名
4月2日（火）	11:00～ 13:00	担当者会議	外部研修参加者より、自閉症特性の勉強会	ホーム正規職員5名
5月10日（木）	11:00～ 13:00	担当者会議	わだちYさんの入院までの経緯及び退院後の支援体制等について	ホーム正規職員全員参加（6名）
5月15日（火）	10:30～ 12:00	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告	ホーム正規職員及び夜勤者6名
5月29日（火）	11:00～ 13:00	推進会議	住人さん近況報告・支援について2名 諸連絡	ホーム正規職員5名
6月7日（木）	11:00～ 13:00	推進会議	10か年計画 365日体制について 20周年記念誌（ホーム部分）	ホーム正規職員5名
6月12日（火）	10:30～ 12:00	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告及び近況報告	正規職員・夜勤者8名
6月26日（火）	11:00～ 13:00	担当者会議	新年度の会議内容・委員会活動・虐待防止法の改正内容等	ホーム正規職員全員参加（6名）
7月5日（木）	11:00～ 13:00	推進会議	① 365日新ホーム体制について ② 記念誌について ③ 虐待について（ニュース）	ホーム正規職員全員参加
7月10日（火）	10:30～ 12:30	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告・近況報告	正規職員（ホーム）・夜勤者8名参加
7月31日（火）	11:00～ 13:00	担当者会議	ケース会議 接し方について	正規職員6名全員参加
8月9日（木）	11:00～ 13:00	推進会議	① 記念誌 ② 365日新体制 ③ 諸連絡	正規職員5名

日程	時間	会議名	内容	出席
8月28日(木)	11:00～ 13:00	担当者会議	ケース会議 広汎性発達障害の理解等	正規職員6名全員参加
9月6日(木)	11:00～ 13:00	推進会議	① 記念誌 ② 365日新体制 ③ 諸連絡	正規職員5名
9月11日(火)	10:30～ 12:30	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告等	正規職員及び夜勤者6名
9月25日(火)	11:00～ 13:00	担当者会議	① 記念誌 ② 諸連絡	正規職員5名
10月4日(木)	11:00～ 13:00	推進会議	① 365日新体制	正規職員4名
10月16日(火)	10:30～ 12:00	ホーム会議	近況報告	正規職員・夜勤者5名
10月30日(火)	11:00～ 13:00	担当者会議	個別支援計画について	正規職員5名
11月1日(木)	11:00～ 13:00	推進会議	① 記念誌及び記念行事 ② 365日新体制	正規職員5名
11月13日(火)	10:30～ 12:00	ホーム会議	近況報告	正規職員及び夜勤者8名
11月27日(木)	11:00～ 13:00	担当者会議	土・日の支援の在り方(ケース)	正規職員6名全員参加
12月6日(木)	11:00～ 13:00	推進会議	① 記念誌 ② 365日新体制の進め方 ③ 諸連絡	正規職員6名全員参加
12月11日(火)	10:30～ 12:00	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告等	正規職員・夜勤者7名
12月25日(火)	11:00～ 13:00	担当者会議	ケース会議	正規職員5名
31年1月22日	10:30～ 12:00	ホーム会議	近況報告	正規職員・夜勤者10名
1月28日(月)	11:00～ 13:00	推進会議	ケース会議 休んでいる	正規職員5名
1月29日(火)	11:00～ 13:15	担当者会議	ケース会議 老化現象	正規職員5名
2月14日(木)	11:00～ 13:00	推進会議	利用者近況 記念誌 人事異動等	正規職員5名

日程	時間	会議名	内容	出席
2月 19 日 (火)	10 : 30 ~ 12 : 15	ホーム会議	近況報告	正規職員・夜勤者 6 名
2月 26 日 (火)	11 : 00 ~ 13 : 00	担当者会議	年度末に向けての諸連絡	正規職員 6 名全員参加
3月 7 日 (木)	11 : 00 ~ 13 : 00	推進会議	① 365 日新体制 ② 諸連絡	正規職員 5 名
3月 12 日 (火)	10 : 30 ~ 12 : 00	ホーム会議	ヒヤリハット・インシデント報告等	正規職員・夜勤者 10 名
3月 28 日 (火)	11 : 00 ~ 13 : 00	担当者会議	ケース会議 食事について	正規職員 4 名

## 平成30年度ヒヤリハット・インシデント報告（別紙5）

今年度、ヒヤリハット・インシデント報告は全体で14件出ています。ホーム別では、しおん7件・わだち5件・ほくと1件・しらかば1件になります。内4件がインシデントになる前に防いだ事柄になっています。

昨年度多かった誤薬に関しては、1件です。減った要因として、この1年間のヒヤリハット・インシデント報告を周知したことや、健康委員会で行っている「薬チェック表」の更新頻度を増やしまた、薬変更について委員会が主になり連携報告に力をいれたことが、要因として考えられます。また、2重・3重のチェック体制が、服薬するまでに間違いに気づき、対応できた要因となっています。

女性ホームでは前回は少なった転倒（転倒防止も含め）5件と多くなり、高齢化における筋力の低下が見られてきました。

高齢化に関しては今年度健康委員会にて、「高齢化チェックシート」を作成して、全事業所で運用できるように立案しています。また、ホーム会議の場においても、転倒の防止対策についても、話す場面も増えてきました。

ヒヤリハット・インシデント報告に関しては、まだまだ記入をすることが大変・時間がないといった印象が強く、ヒヤリハット・インシデント報告が今後も積極的に提出がされる体制をきづき、利用者さんの安全につなげる支援を目指していきたいと思います。

別紙6

\*場面：①乗降時②食事時③入浴時④就寝時⑤その他

ホーム名	件数	①	②	③	④	⑤	計
ゆいまーる	0	0	0	0	0	0	0
しおん	7	1	4	0	0	2	7
いまじん	0	0	0	0	0	0	0
ほくと	1	0	0	0	0	1	1
ひまわり	0	0	0	0	0	0	0
わだち	5	0	1	0	1	3	5
しらかば	1	0	0	0	0	1	1
	14	1	5	0	1	7	14

\*形態：A 転倒 B 転落 C 誤嚥 D パニック E その他

ホーム名	件数	A	B	C	D	E	計
ゆいまーる	0	0	0	0	0	0	0
しおん	7	1	4	0	0	2	7
いまじん	0	0	0	0	0	0	0
ほくと	1	0	0	0	0	1	1
ひまわり	0	0	0	0	0	0	0
わだち	5	0	1	0	1	3	5
しらかば	1	0	0	0	0	1	1
	14	1	5	0	1	7	14

## 「いまじん」報告

平成30年度は、年度の初頭から、スタッフの配置を大幅に変動がありました。下半期には支援に関わるスタッフが増えて、泊りを含めた支援全般の安定化が図れるようになりました。

年始に住人さんのお母さんが亡くなられて、土曜日の宿泊も始まりました、それによって、土曜日の支援が必要となつたことも要因となります。事実上、一人の方は、365日のホーム生活のスタートとなりました。

生活面では、それぞれ個性の違ったスタッフを相手に、戸惑いのあった住人たちも、

期末には落ち着き、泊りのスタッフ毎に気持ちの切り替えが出来たようです。

また、月1回のレクレーションとして、皆さん楽しみにしている外食や誕生日会を行い、楽しく気分転換ができます。

夏季は例年以上の猛暑が続き、室内温度の上昇が見られましたが、室内各部屋の温度調節を行い乗り越えました。この間、体調不良で休まれることなく過ごせました。

冬季は、インフルエンザの大流行がありましたが、福祉会としての対応が行き届いており、皆さん感染の疑いも無く、この時期を脱することが出来ました。

住人さん各々の生活スタイルは、特に変わることなく過ごせています。

また、安全面でスプリンクラーの設置工事が完了しました。

各人の健康面では、高血圧治療を継続中の住人さん、深夜覚醒が増してきた住人さん、

様々で、いざれも投薬治療を始めています。加齢の影響は考えられますが、服薬量が増していること状況は避けられなくなっています。

早春の時期には、花粉症の発症が見られ、精神的に落ち着かない様子が見られて、点鼻薬などで対応を行い、投薬を始めた住人さんも居ます。例年に比べ飛散量が多く、発症したと見られます。

短期記憶の低迷が見られる住人さん等、明らかに加齢に伴う変化が見られました。

ホームの今後の課題としては、健康診断等の結果などを重視し、生活環境の改善は必要と感じています。これからも、住人さんの健康面での維持・向上を図ると共に、変化を見逃すことなく、支援を進めていかなければならぬと考えております。

## 「しおん」まとめ

「しおん」は年度始めにスプリンクラーが設置されました。庭に大きな銀色のタンクが設置され、家の中には配管が張り巡らされました。なるべく天井や壁の色と一緒にして頂き目立たないようにしてもらいましたが、設置当初は違和感がありました。それも日々、生活していくうちに当たり前になりました。

「しおん」の新しい仲間となったAさんも2年経ち、すっかり馴染んで生活しているようです。受け入れた他の仲間もすっかり馴染んでいるようで、お休みすると「いない」と気に掛けてくれます。ただ、皆さん年齢を重ねて来ているので健康面が少し心配になる事が多くなってきました。けやきの家をお休みして、しおんで過す事があるようになったBさん、皮膚疾患が目立つようになってきたCさん、いつまでも元気で生活してもらいたいと思います。そんな中、こだわりがあるDさんが、その場の様子を察して柔軟に対応する事が多くなってきています。その変化はとてもうれしく思っております。

スタッフの体制に少し変化がありましたが、皆さん落ち着いて受け止め、受け入れていたように感じました。これからもいろいろな変化があると思いますが、適応する力は持つてみえる方々ばかりなので穏やかに明るく、そして健康に生活してもらえるように支援していかなければ…と痛感致します。

## 「ひまわり」まとめ

「ひまわり」に新しい仲間を迎える1年8ヶ月ほど経ちました。毎日、4人でけやきの家に行って4人で帰って来る当たり前の生活が続けられるささやかな幸せを感じています。時々、小さないざこざもありますが皆さんご自分のペースでゆったり・のんびり、時にはあたふたと生活されています。住人さんの一人が発作によりしばらくお休みする日がありましたが、他のさんはインフルエンザにも感染する事なくお元気でした。

今年度「ひまわり」にはスプリンクラーが設置されました。「ひまわり」のスプリンクラーは他のホームの物と違い室内にタンクを置くタイプの物でした。各居室はもちろん、世話人室や予備室、リビングには3機も置いてあります。設置した当初は皆さん戸惑いがあり、落ち着かない様子でした。そしてリビングが狭く感じられました。

今年度はけやきの家の一泊旅行がなくなりましたが、なかなか「無し」となった事を受け入れられないよう「ジェットコースターには乗らない」「梨、欲しい」と旅行にまつわる発言が現在でも聞かれます。クリスマス会や成人式等々の行事を体験しているのですが、一泊旅行は皆さんにとっては特別な行事だったようです。

「ひまわり」では特別な事はしませんが、住人たちが日々穏やかに安心して生活できるように支援していきたいと言う思いは変わりません。

4月に住人さん1名が右大腿骨を骨折し、1ヶ月程入院されました。それにより、住人さんが心配しお見舞いに行きたいと言っていました。もう一人の住人さんも心配なようで、何度も聞いてきたりしていました。そんな中入院中は、上手く動けないにもかかわらず水を飲みに奔走して看護師さん達を困らせていました。

5月も終わる頃、退院をしてまたいつもと変わらないわだちになりました。

丁度入院される少し前から来ていた新しいスタッフさんを見て、誰だ?とコチラに訴えてきたので説明。しかし覚えていない様子だったので改めて紹介し納得したようでした。

退院後の様子では私は少し強くなり、住人さんとリモコンの奪い合いをしたり、お茶を取ろうとしたりと欲求なども強くなったように思います。

またお茶を取られそうになる住人さんもそれを見ながら、制しする事が増え、また違う一面を見せてくれました。それを見ていた別の住人さんは変わらずでしたが、見かねてお茶を勝手に取ろうとすると注意をする事もあり一瞬コチラも驚きました。

6月になるとある住人さんの情緒が少し不安定に。家に帰る日数も月に2回に減り、慣れてきたかなと思っていたが、やはり家に帰りたいと言って来ることが増え、それと同時に、「嫌」という言葉も増えてなかなかコミュニケーションが取れない状態になりがちでした。

新しいスタッフさんがそれでも話しかけにいき、さらに悪化させてしまいそうだった為、対応の仕方を伝え様子をみました。

またそんな時は、住人と口喧嘩もあり少し落ち着きのないわだちです。

7月頃には落ち着き、また笑ってくれるようになったので良かったです。

それからしばらくの間1ヶ月に1回~2回は「嫌、行きたくない」という事はありましたが、基本自分から話しかけてきたり、毎朝必ず元気に挨拶してくれたりなど少し柔らかくなつたと感じました。

またこの頃から、別の住人さんが夜中水を飲みに起きたり、なかなか長時間眠れないという事が増えてきました。

11月にスタッフさんが急遽入院する事になり、いつも以上に反応して気にしていました。また少ししたら帰つてくるから大丈夫ですよと伝えると、「お見舞い行きたいんです」と言ってくれる優しい住人さんでした。退院してきた後は、暫くの間ちょっとした事で大丈夫ですか?と気にしている姿がありました。また、そのスタッフさんが入る時はお皿洗いをするなど、自発的にお手伝いをするようになりました。

12月は末くらいにある住さんの血圧がぐんっと上がり、対応に追われました。本人は特に変わった様子もなくその後も普段通りにすごしていますが、普段から体を動かさないせいか、むくみや、体重の増加が目立ちはじめきました。

2月、住さんのお父さんがインフルになりわだちで土日を過ごす事になりました。本人はお父さんの事を気にしていましたが、生活は穏やかにマイペース。ただ、家のいつものルーティンをこなせなかつた為少し動揺してしまう事もありました。

そして別の住さんの微熱がここから続きます。最初は様子を見ていたのですが、本人は至って元気。しかし、こちらも気になるので血液検査を行つたりもしましたが原因不明な状況でした。2週間ほどで、平日は落ち着くのですが休日になるとまた熱が上がってしまうので、疲れが出やすくなってきたのか、夜ちゃんと寝れていない為かなと思います。

3月になり、この一年ドタバタとすごしてきました。もちろん安定して過ごせている事もありました。毎年違う一面を見してくれる事にありがたいと思います。

## 「ほくと」のまとめ

今年度は、設備の故障により買い替えなどが多くありました。

夏には、家庭の備品等が故障し、買い替えや修理など出費が多くありました。

- ① 冷蔵庫のガス漏れによる。
- ② ポットのサーモスタット故障
- ③ 湯器の故障が相次いだため、新しい給湯器を購入
- ④ 台風の影響により、サンガーデンを修理

住さんの体調の変化では、原因がわからなかった症状の原因がわかり、服薬治療を行っていますが投薬の感覚の勘違いをしたこともあり、薬セットの方法や確認方法を変更しスタッフ間で情報共有に力を入れました。

来年度も加齢による状態の変化に気を付けながら、住さんと一緒に過ごしていきたいと思います。

## 「ゆいまーる」まとめ

「ゆいまーる」は、利用者スタッフ共に大きな体調の変化、メンバーの変更もなく、1年無事に過ごすことが出来ました。昨年に引き続き、毎月2回看護師に訪問していただき、医療と連携をとり、健康面の相談にものっていただきました。毎月2回の訪問で以前は聴診、血圧測定の際拒否が見られた利用者も、訪問を重ねるにつれ、看護師の優しい人柄や、診察行為に慣れ、現在は拒否なく診察を受けられるようになりました。

また地域で暮らすグループホームということで、ネオポリスの自治会の方が有事の際、避難活動、救助活動が滞りなく行なえる様、「ゆいまーる」に来てください、利用者の顔、様子、「ゆいまーる」内部を見学されました。その際スタッフだけでなく、利用者とも話をし、利用者の人柄を知っていただくことが出来ました。

また以前より計画に挙がっていたスプリンクラーを、年末から年始にかけて工事を行い、設置することが出来ました。設置に当たって、車庫を4分の1程撤去し、2m半ほどの高さのある大きさのタンクを設置しましたが、利用者は全く混乱なく「ゆいまーる」内でも、天井に配管が通り、各部屋の天井に水の噴出口が設置されましたが気にすることはありませんでした。

大きな心配事として、年明けに利用者の1人が自宅に籠ってしまい、「ゆいまーる」に来られなくなってしまいました。ご本人は『寒いので行きません、暖かくなった3月より行きます。』と言っていましたが、その言葉をそのまま受け止めていいのか?言葉では寒いから行かないと言っているが他に理由があるのではないか、早く手を打たないとこのまま来られなくなってしまうのでは?と心配し、スタッフ間で話し合いをいたしましたが、心当たりも考えられず、家族と相談をして、何も変化がなくても毎週連絡をとりあうことにしました。そこで情報を集めると、常用の薬が年末体調を崩されてからしばらく飲めていなかったことが判明し、薬の服薬を再開し様子を見守ることにしました。また生活介護、ホームにすぐに通うことは難しいと考え、外出支援から始めることにしました。また無理なく外に少しでも連れ出そうと、本人の好きなモーニングを電話で無理なく誘い、本人の好きな店へ度々連れ出しました。さらにご自宅へは『心配しているよ、忘れてはいないよ』と伝えるため、出てこられなくてもお迎えに行き声かけをしました。

服薬、外出支援、モーニング、声かけを続け、本人の様子を観察する内に、発する言葉や様子などから3月に必ず来てくれる、本人の言葉を信じても大丈夫と感じ、3月まで無理に連れ出そうとはせず、本人が行きたい気持ちになるのを待ちました。その結果3月1日に少し気まずそうな様子はありましたが、自宅より出てこられ「ゆいまーる」の利用を再開することができました。3月まで気長に待ってよかったですと感じました。

## 「しらかば」まとめ

「しらかば」は大きな変化がたくさんありました。

### ① チームリーダーの移動

スタッフが交代しました。二人のスタッフが交互に配置することになりましたが、特に大きな混乱なく交代が出来ました。

### ② 宿泊するようになった

4月18日より毎週水曜日に宿泊が始まりました。昨年度はスタッフ配置が不十分であったため、宿泊までできない状態で、入浴し夕食を食べ終えたら、帰宅されていました利用者の「しらかば」での生活の様子にも落ち着きが見られたこと、しっかりと自宅とホームでの生活するという認識が理解できて来たこと、親様からの要望等などから、十分なスタッフ配置ではありませんが、とりあえず週に1回から宿泊を始めてみました。宿泊することで、いままではわからなかった利用者の夜間の過ごし方から、家族の大変さがわかりました。利用者の中には生活リズムが違っており、夕食後18時ごろから就寝し、夜間1時～2時の間に起床され、しらかば内を歩き、大きな声を出される方がいるため、他の利用者の就寝が妨げられていました。夜中に覚醒した際の為に、就寝を促す薬を、家族の方より預かりましたが、薬を使わず、本人の生活リズムを後ろにずらす支援を始めました。20時に飲み物と軽食を食べる時間を設け、本人が20時まで起きているよう促しました。また時計の写真と予定を文字とイラストで表し、本人の自室に貼り目で見てわかりやすいよう構造化を進めました。その甲斐もあり、現在は20時～4時頃まで就寝されています。親様の要望と、夜間の生活を把握し、可能だと自信が持てたため、8月からは毎月最初の火曜日の宿泊も始めました。

### ③ 身体障がいのある方への入浴支援補助導入

1人の身体障がいの方の入浴にシャワーチェアを購入しました。導入前は、ご家族の情報を元に、洗い場に不安定ながらも座位の姿勢をとって頂き1人が洗体し、1人が後ろから体を支え入浴していましたが、福祉用具のシャワーチェアを導入することにより、本人も力を入れて座位を保つ必要もなくなり、スタッフも腰を深く曲げる必要もなくなり両者の負担が軽減されました。衣服の更衣も早くなり、風邪を引くリスクも軽減されました。

### 利用者の生活の様子

1人の利用者が「しらかば」の自室や居間で、自宅で行っているジグソーパズルを完成させる様子がみられるなど、それぞれの利用者が、それぞれのペースで「しらかば」が自分の居場所になっていく変化が見えるようになってきました。現在そのジグソーパズルは毎回家に持ち帰っていましたが、ある日、「しらかば」に置いていた時にはさらに自宅という感覚に近づいたのではと思いました。

平成 30 年度

事 業 報 告 書  
および  
活 動 報 告 書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

社会福祉法人けやき福祉会  
れすば

# 目次

## 4. れすば

(1)居宅について	.....
(2)移動支援について	.....3 ページ
(3)れすば 24 について	
(4)その他共通事項	.....
(イ)体制	.....4 ページ
(ロ)利用者	.....5 ページ
(ハ)利用実績	.....6~10 ページ
ヒヤリハット報告一覧	.....11 ページ
事故報告一覧	.....
苦情について	.....12 ページ

## 6. 公益事業

(1)障がい児・者在宅生活支援事業【れすば 24】(会員制レスパイトサービス事業)	.....13 ページ
(2)福祉有償運送	.....14 ページ

## 4. れすば

### 「れすば」の概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
障害福祉サービス事業 (訪問系)	居宅介護（身体介護、家事援助、通院等介助、乗降介助） 重度訪問介護、行動援護、同行援護
地域生活支援事業 (春日井市補助事業)	移動支援

児童分野や高齢者分野等、新たなニーズに応えるべく、職員が一丸となり、それぞれの得意分野を生かして挑んだことで「達成」という結果での変化と成長の一年であった。また、利用者さんの生活の変化により在宅支援を継続できなくなったり、利用が減少したりと変動の激しい年であった。

昨年の保護者説明会に続き、30年度は懇親会を開催し、普段面識のない方々を含めた交流を通じ、利用方法や体験談、悩みの共有化の場として、またスタッフにとってもニーズの把握ができた実りある会を開くことができた。次回の開催への希望も多く寄せられており継続して今後も開催をしていきたい。

#### (1) 「居宅介護」について

昨年度対応した難病指定の方の緊急利用から、平常利用へ繋げられた。

加齢や利用者さんの環境変化に伴い、提供する支援の形が変化していったが、皆で何が求められているか相談し提案していくことで、「安心・安全」な支援を提供することができた。

グループホームへの入所やショートステイ利用、入院等でサービスの提供に波があった。

#### (2) 「移動支援」について

幅広い年齢層の利用があり、行先や外出目的など様々だったが、気持ちに寄り添い、共感することで、たくさんの笑顔に出会えた。

行先が増えた方や、利用目的が増えた方など、面談や懇親会を通してコミュニケーションが取れた。

#### (3) 「れすば24」について

福祉有償運送において、利用希望が重なり運転手不足になることが昨年同様続いている。

ドライブレコーダーが設置され、ドライバーの方々からは安全運転の意識が高まっているとの声が聞こえている。

緊急利用はあったが、泊まり依頼が今年度はありませんでした。

通常のサービスでは対応できない支援依頼があり、新たに本人の希望に沿える支援を提供することができ、定期的な利用へと繋がっている。

今回、春日井市福祉有償運送運営協議会へお迎え料金の追加案を提案し、福祉有償運送の金額改定を試みたが、却下された。今後も継続して運行していくためには、料金の見直しは行わなくてはならないため、別の案を再度提案し許可をもらえるようにする。

#### (4) その他共通事項（詳細は別資料）

##### ①研修、技術指導会議等

事業所内研修 : 12回（全員対象）

事業所外研修 : 9回（個別）

## ②防災訓練、救命訓練

防災訓練は、6月に事業所内研修として、災害時の事務所から避難先へのルート確認、危険予測の検討し防災対策を実施。

救命訓練は、消防署の方に来ていただき、12月に実施。

## ③ヒヤリハットについて…別資料

ヒヤリハット報告の提出9件。

## ④事故・苦情について…別資料

事故報告の提出 0件

苦情の提出 1件

## (イ) 体制

		期初(30/4)		期末(31/3)	
		人員	常勤換算後人員	人員	常勤換算後人員
管理者	常勤	1	1	1	1
サービス提供責任者	常勤	2		2	
従業者	常勤	3	8.5	3	7.7
	非常勤	15		11	
資格保有者 (重複あり)	介護福祉士 実務者研修修了者		9		9
	初任者研修 ヘルパー2級		20		16
	行動援護資格保有者		12		11
	同行援護従事者		9		8

平成 30 年度

(口) 利用者

a. 年齢構成

		~18 歳	19~25 歳	26~30 歳	31~35 歳	36~40 歳	41~45 歳	46~50 歳	51 歳~	合計	
居宅介護等		1	7	2	6	6	10	6	5	43	
けやき&ホーム み	れすばの	0	1	2	5(1)	0	2(1)	2(2)	4(2)	16(5) 27(7)	
		0		0	2(1)	0	2(1)	2(2)	4(1)		
居宅+移動支援		0	1	1	4	3	1	1	1	12	
移動支援		3	4	4	12	3	3	7	2	38	
けやき&ホーム み	れすばの	0	3	0	4(1)	2	2(1)	6(2)	6(2)	19(5) 19(7)	
		0		0	2(1)	2	6(2)	3(1)	2(2)		
計		4	10	5	14	6	12	12	6	69	
れすば 24		6(3)	6(6)	3(3)	10(9)	2(2)	7(7)	8(8)	1(1)	43(39)	
合計		7	10	5	15	6	12	12	6	73	

けやきの家 けやきホーム れすばのみ

\*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人

\*合計は、24 を含めた契約実数

\*計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

\*けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数 1 として計上

## 障がい支援区分

		児童		区分1		区分2		区分3		区分4		区分5		区分6		合計	
居宅介護等		0		0		1		4		9		9		20		43	
けやき&ホーム み	れすばの み	0	0	0	0	0	1	0	4(1)	0	9(5)	6(3)	3(1)	10(2)	10	16(5)	27(7)
けやき	ホーム	0	0	0	0	0		0		0		6(3)	2(2)	10(2)	8(1)	16(5)	10(3)
居宅移動支援		0		0		0		1		5		4		2		12	
移動支援		2		0		2		3		8		13		10		38	
けやき&ホーム み	れすばの み	0	2	0	0	0	2	0	3(1)	2	6(5)	7(3)	6(1)	10(2)	0	19(5)	19(7)
けやき	ホーム	0	0	0	0	0		0		2		8(3)	7(1)	10(2)	5(1)	19(5)	13(3)
計		2		0		3		6		12		18		28		69	
れすば24		5(2)		0		0		3(3)		8(8)		10(9)		17(17)		43(39)	
計		5		0		3		6		12		19		28		73	

けやきの家

けやきホーム

れすばのみ

\*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人

\*計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

\*合計は、24 を含めた契約実数

\*けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上

## 障がい種類別

			身体	身知的	身精神	知的	知精神	精神	合計
障がい者	居宅介護等		7	8	2	22	1	3	43
	けやき&ホーム のみ		0 けやき のみ	7 ホーム のみ	4(1) 4(1)	4(1)	0 11(4) 11(4)	2 11(5)	1 0 3(1)
	けやき のみ		0 けやき のみ	0 ホーム のみ	0 4(1)	0 4(1)	2 5(2)	0 1 0 0	16(5) 16(5)
	居宅・移動支援		0	2	0	9	0	1	12
	移動支援		0	5	0	28	0	1	34
	けやき&ホーム のみ		0 けやき のみ	0 ホーム のみ	4(1) 4(1)	1(1)	0 15(4) 15(4)	0 13(5)	0 0 1(1)
	けやき のみ		0 けやき のみ	0 ホーム のみ	0 3(1)	0 0	0 10(2)	0 0 0	19(5) 19(5)
	計		7	11	2	41	1	3	65
	れすば24		1(1)	8(8)	1(1)	27(26)	1(1)	0	38
	合計		7	11	2	42	2	3	67
障がい児	居宅介護等		0	0	0	0	0	0	0
	けやき&ホーム のみ		0 けやき のみ	0 ホーム のみ	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	居宅・移動支援		0	0	0	0	0	0	0
	移動支援		0	1	0	2	0	0	3
	けやき&ホーム のみ		0 けやき のみ	0 ホーム のみ	0 0	0 1	0 0	0 0	0 3
	けやき のみ		0 けやき のみ	0 ホーム のみ	0 0	0 0	0 2	0 0	0 0
	計		0	1	0	2	0	0	3
	れすば24		0	1(1)	0	4(1)	0	0	5(2)
	合計		0	1	0	5	0	0	6
障がい者と障がい児合計			7	12	2	47	2	3	73

けやきの家 けやきホーム れすばのみ

\*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人

\*計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

\*合計は、24を含めた契約実数

\*けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上

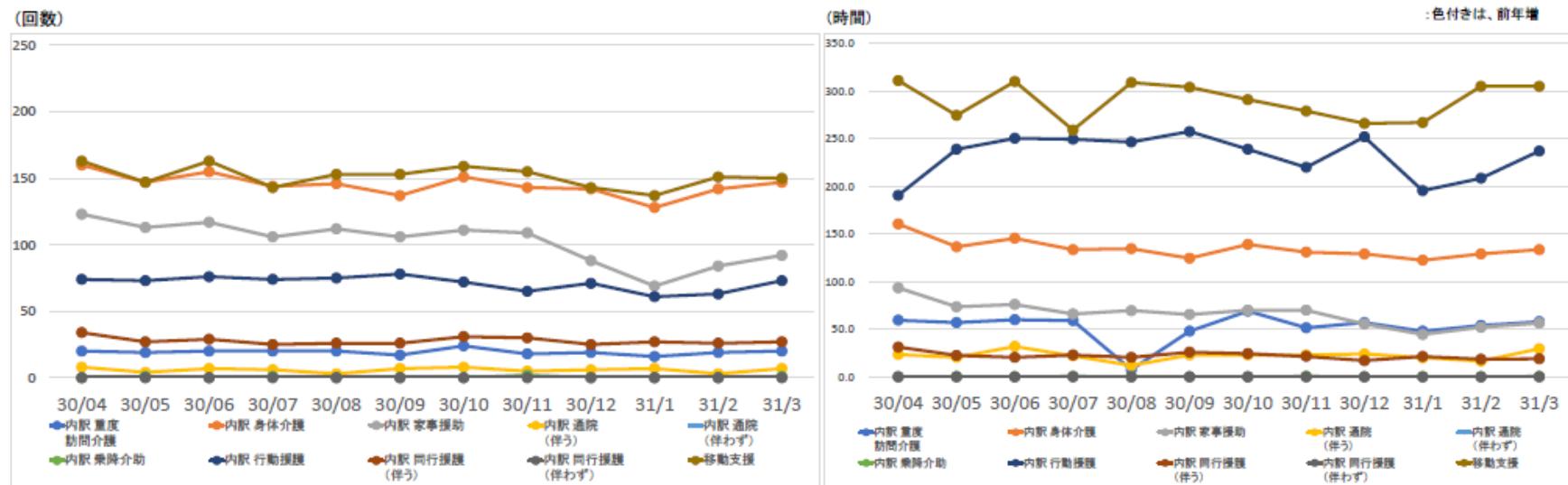
### (iv) 利用実績

居宅支援サービス【れすば】、移動支援【れすば】の各サービス利用実績は次ページの通りです。

今年度は、利用者さんのグループホームへの入所やショート利用、入院退院等でサービス提供が不規則で、それに伴い利用されているサービスが減少し、利用回数や時間が減少傾向にある。

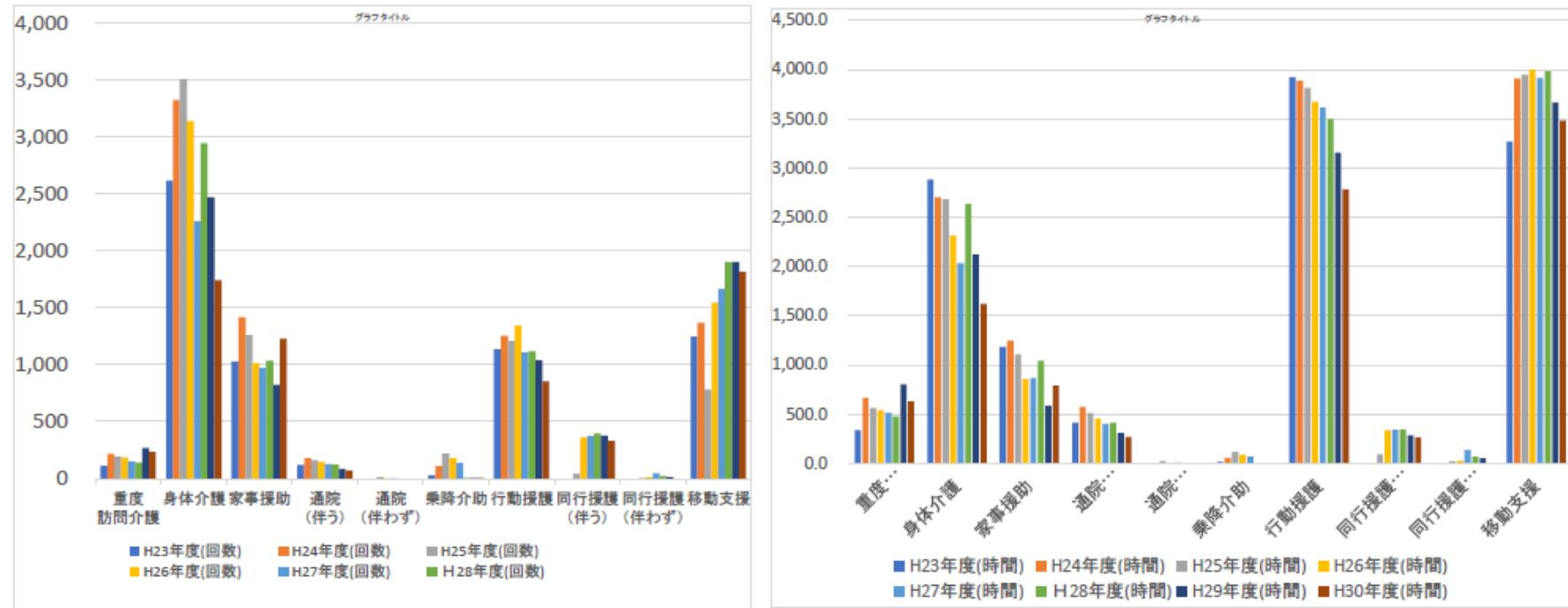
平成30年度 月別【居宅介護】【移動支援】実績まとめ

	サービス利用回数										合計	サービス時間										合計			
	居宅介護								地域支援	内訳								地域支援	内訳						
	内訳				地域支援					内訳				地域支援					内訳						
	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院 (件う)	通院 (件わざ)	乗降介助	行動援助	同行探護 (件う)	同行探護 (件わざ)	移動支援	合計	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院 (件う)	通院 (件わざ)	乗降介助	行動援助	同行探護 (件う)	同行探護 (件わざ)	移動支援	合計			
30/04	20	160	123	8	0	0	74	34	0	163	582	30/04	59.5	160.5	93.5	23.5	0.0	0.0	190.50	31.3	0.0	311.0	869.8		
30/05	19	147	113	4	0	1	73	27	0	147	531	30/05	57.0	136.5	73.5	20.5	0.0	0.25	239.00	22.5	0.0	274.5	823.8		
30/06	20	155	117	7	0	0	76	29	0	163	567	30/06	60.0	145.5	76.0	32.0	0.0	0.0	250.50	20.5	0.0	310.0	894.5		
30/07	20	144	106	6	0	1	74	25	0	143	519	30/07	59.0	133.5	66.0	22.0	0.0	0.50	249.50	23.0	0.0	259.0	812.5		
30/08	20	146	112	3	0	0	75	26	0	153	535	30/08	7.5	134.50	69.5	12.0	0.0	0.00	246.50	20.5	0.0	309.0	799.5		
30/09	17	137	106	7	0	0	78	26	0	153	524	30/09	48.0	124.5	65.5	23.0	0.0	0.00	257.50	26.0	0.0	304.0	848.5		
30/10	24	151	111	8	0	0	72	31	0	159	556	30/10	69.0	139.0	70.0	23.0	0.0	0.00	239.0	24.5	0.0	291.0	855.5		
30/11	18	143	109	5	0	2	65	30	0	155	527	30/11	51.5	131.0	70.0	23.0	0.0	0.50	220.0	21.5	0.0	279.0	796.5		
30/12	19	142	88	6	0	0	71	25	0	143	494	30/12	57.0	129.0	55.5	24.0	0.0	0.00	252.0	17.0	0.0	266.0	800.5		
31/1	16	128	69	7	0	0	61	27	0	137	445	31/1	48.0	122.5	44.5	20.0	0.0	0.00	195.5	21.5	0.0	267.0	719.0		
31/2	19	142	84	3	0	0	63	26	0	151	488	31/2	54.0	129.0	52.0	16.5	0.0	0.00	208.50	18.5	0.0	305.0	783.5		
31/3	20	147	92	7	0	1	73	27	0	150	517	31/3	58.0	133.50	56.5	29.50	0.0	0.50	237.0	19.0	0.0	305.0	839.0		
年間合計	232	1,742	1,230	71	0	5	855	333	0	1,817	6,285	年間合計	628.5	1,619.0	792.5	269.0	0.0	1.8	2,785.5	265.8	0.0	3,480.5	9,842.5		
月平均	19.3	145.2	102.5	5.9	0.0	0.4	71.3	27.8	0.0	151.4	523.8	月平均	52.4	134.9	66.0	22.4	0.0	0.1	232.1	22.1	0.0	290.0	820.2		

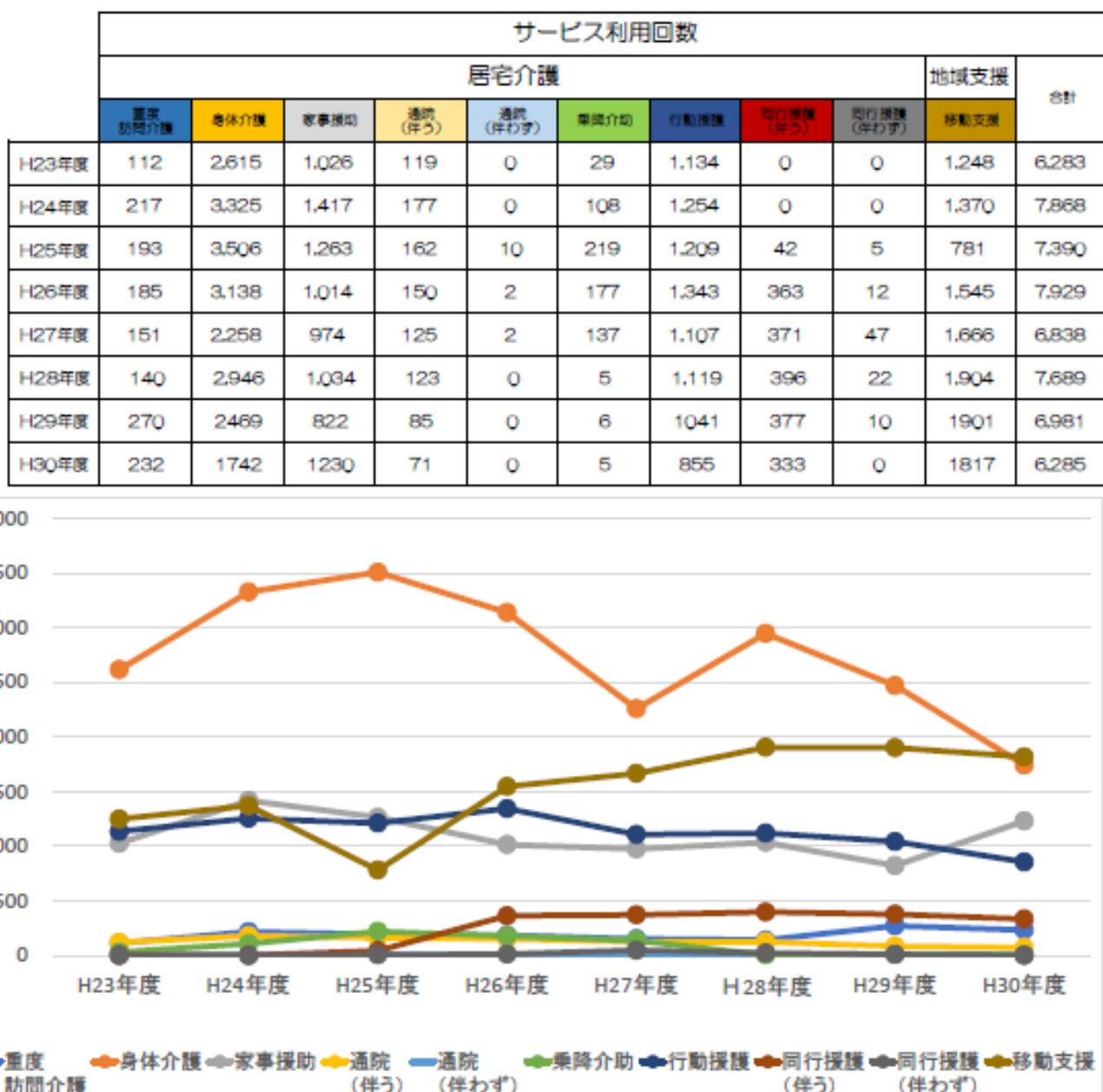


## 年度別 【居宅介護】【移動支援】実績まとめ

	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院 (伴わ ず)	通院 (伴わ ず)	乗降介助	行動援護	同行援護 (伴わ ず)	同行援護 (伴わ ず)	移動支援	合計		重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院 (伴わ ず)	通院 (伴わ ず)	乗降介助	行動援護	同行援護 (伴わ ず)	同行援護 (伴わ ず)	移動支援	合計
H23年度 (回数)	112	2,615	1,026	119	0	29	1,134	0	0	1,248	6,283	H23年度 (時間)	338.0	2,884.5	1,181.5	414.0	0.0	15.0	3,921.0	0.0	0.0	3,269.5	12,023.5
H24年度 (回数)	217	3,325	1,417	177	0	108	1,254	0	0	1,370	7,868	H24年度 (時間)	666.0	2,702.0	1,248.5	574.0	0.0	55.5	3,887.0	0.0	0.0	3,910.7	13,043.7
H25年度 (回数)	193	3,506	1,263	162	10	219	1,209	42	5	781	7,390	H25年度 (時間)	560.0	2,682.0	1,107.7	508.5	24.5	119.5	3,811.0	92.0	21.0	3,946.0	12,872.2
H26年度 (回数)	185	3,138	1,014	150	2	177	1,343	363	12	1,545	7,929	H26年度 (時間)	541.0	2,315.5	856.5	455.5	25	88.5	3,673.5	337.0	29.0	3,998.5	12,297.5
H27年度 (回数)	151	2,258	974	125	2	137	1,107	371	47	1,666	6,838	H27年度 (時間)	515.0	2,034.5	865.0	400.5	60	69.0	3,615.5	342.0	136.0	3,915.0	11,898.5
H28年度 (回数)	140	2,946	1,034	123	0	5	1,119	396	22	1,904	7,689	H28年度 (時間)	478.5	2,632.5	1,041.5	412.8	0.0	2.3	3,497	346.0	66.5	3,979.0	12,455.6
H29年度 (回数)	270	2,469	822	85	0	6	1,041	377	10	1,901	6,981	H29年度 (時間)	803.0	2,122.5	584.5	307.3	0.0	2.4	3,155.8	286	50.0	3,663.5	10,975.0
H30年度 (回数)	232	1,742	1,230	71	0	5	855	333	0	1,817	6,285	H30年度 (時間)	628.5	1,619	792.5	269	0.0	1.8	2,785.5	265.8	0.0	3,480.5	9,842.6



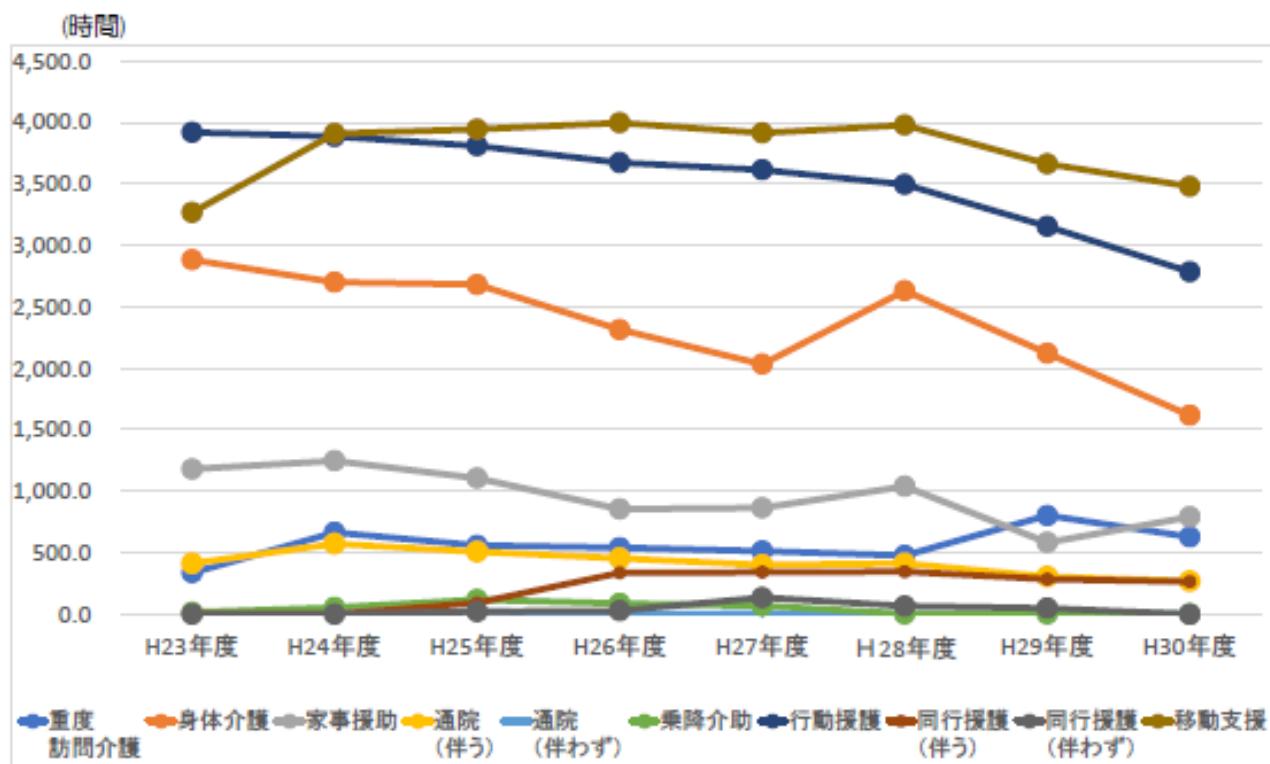
## 年度別 【居宅介護】【移動支援】実績まとめ



### 補足

- 重度訪問介護は、利用者の増減もなく定期利用によりほぼ横ばい。
- 身体介護は、利用者の入院や入所による利用終了、ショート利用が増え、利用が減少した。
- 家事援助は、退院した利用者の利用回数が増加した。
- 通院介助は利用が定着してほぼ横ばい。
- 行動援護、移動支援は利用希望はあるが、ヘルパー不足や利用希望の時間帯が重なり受けきれず、時間数が減少している。

サービス利用時間											
	居宅介護									地域支援	合計
	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院 (往復)	通院 (往復)	乗降介助	行動支援	同行支援 (往復)	同行支援 (往復)		
H23年度	338.0	2,884.5	1,181.5	414.0	0.0	15.0	3,921.0	0.0	0.0	3,269.5	12,023.5
H24年度	666.0	2,702.0	1,248.5	574.0	0.0	55.5	3,887.0	0.0	0.0	3,910.7	13,043.7
H25年度	560.0	2,682.0	1,107.7	508.5	24.5	119.5	3,811.0	92.0	21.0	3,946.0	12,872.2
H26年度	541.0	2,315.5	856.5	455.5	2.5	88.5	3,673.5	337.0	29.0	3,998.5	12,297.5
H27年度	515.0	2,034.5	865.0	400.5	6.0	69.0	3,615.5	342.0	136.0	3,915.0	11,898.5
H28年度	478.5	2,632.5	1,041.5	412.8	0.0	2.3	3,497	346.0	66.5	3,979.0	12,455.6
H29年度	803.0	2,122.5	584.5	307.3	0.0	2.4	3,155.8	286	50.0	3,663.5	10,975.0
H30年度	628.5	1,619	792.5	269	0.0	1.8	2,785.5	265.8	0.0	3,480.5	9,842.6



補足

\*回数と同様。

## 平成30年度 ヒヤリハット報告一覧

	発生日	区分	内容	要因	対策
1	4/15	行動援護	利用者さんが忘れ物をしているのに気付かず、スタッフからの連絡も気づかず、行動してしまった。	出発前の確認不足	しっかり持ち物確認を行う。
2	6/9	移動	食事を選ばれてきたのに、利用者さんが手を付けず、時間のみかかってしまった。 声掛けしたら、利用者さんの声が大きくなかった。	ヘルパー自身に苦手意識があり、コントロールできなくなつた。	慌てず、利用者さんのペースで支援を行う。
3	10/31	居宅	お布団から車椅子への移乗。 体制を整えるために下に下ろしてしまった。	体を持ち上げて、持ちこたえることができなかつた。	体制を整えてから移乗を行う
4	11/17	移動	シートベルト（後部）を確認してたので、時間がかかりすぎ、利用者さん宅に遅れてしまつた。	利用者さん宅までのルート・時間を把握していなかつた。	事前の確認。 時間に余裕を持って出発する。
5	11/22	行動援護	家とグループホームの間、停まっていた車の屋根に靴を投げてしまい、乗つてしまつた。	切り換えができる状況を作ることができなかつた。	本人が切り替えしやすい環境にヘルパーが誘導する。
6	11/24	移動	道路で真後ろにいた女性に利用者さんが振り向きざまに手を出し蹴つてしまつた。	1回目の段階で周りへの呼びかけをしていれば、数人に手を出すことはなかつた。	早めの状況判断をする。
7	12/13	居宅	利用者さん宅へ向かう途中、混んでいて遅れる。	あと5分早く出るようにする。	日にち・天候等渋滞を予測する。 時間に余裕を持つ。
8	12/15	移動	車中でうちわがあることを知らず、目を離したすきにうちわがバラバラ。利用者さんはテンション高かつた。	一瞬目を離してしまつた。	車内も支援中も目を離さないようにする。本人の調子を確認・把握する。
9	1/12	移動	時間を勘違いし、利用者さん宅へ遅れて行つてしまつた。事務所から連絡が入るまで気が付かなかつた。	時間を勘違いし、利用者さんを走らせてしまつた。時間に余裕を持ちます。	時間の把は基本的なことです。気をつけて下さい。
10	1/12	移動	時間に余裕がなく、切符を間違えて買ってしまつた。	不注意	時間に余裕を持って行動する。

## 平成30年度 事故報告一覧

	発生日	区分	内容	要因	対策
1	6/28	行動援護	利用者さんのテンション高く、部屋の中から大きな声が聞こえ、自分の気持ち抑えられず、玄関に立っていたヘルパーの肩を噛む。	利用者さんがまんのはけ口として噛んだ。	利用者さんの特性を把握する。
2	8/15	居宅	利用者さんの家の門で、車で出るとき接触。門に傷をつけてしまった。	停車中スペースがあまりないので、曲がるときの確認がおろそかだった。	時間にゆとりも持つて移動する。
3	8/19	居宅	信号のない交差点で、対向車と接触	時間に余裕がなく焦っていた。 交差点の確認不足。	一旦停止。目線による確認。
4	10/20	移動	駐車場でバックしてきた車と接触。	危険だと感じたら、クラクションを鳴らす。	危険を予測し、安全・安心に努める。
5	11/28	移動	バックしてるところ、利用者さん宅の駐車場の伸縮ゲートに傷を2ヶ所つけてしまった。	ブレーキを踏むつもりで、誤ってアクセルを踏んでしまった。	車の踏み間違えがない様、確認して運転をする。

苦情について・・・(別資料)

苦情報告を受けた件数1件

2019年2月8日

内容: 信号待ちで、1台前にいた信号が青になつても動かず、クラクションを鳴らした。

前の車のドライバーさんより、クラクションを鳴らしてもいいのかと?と事務所へ電話が入った。

対策: 関係者にヒアリングを行い、状況確認行った。

以後、同様の苦情が発生しないようにヒアリングと指導を行っています。

## 6. 公益事業

### (1) 障がい児・者在宅生活支援事業【れすぱ24】(会員制レスパイトサービス事業)

【れすぱ24】レスパイトサービス実績データ

	登録会員数		支援回数		支援時間		宿泊利用回数	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
30/4	40	42	50	36	86.85	127.25	0	1
30/5	40	42	69	55	113	122.5	0	0
30/6	40	42	71	54	121.75	114.6	0	0
30/7	40	42	81	55	144.35	144.75	0	0
30/8	40	42	17	18	19.35	25.15	0	0
30/9	40	42	60	50	109.6	114.65	0	0
30/10	41	42	70	45	101.95	95.8	0	0
30/11	41	42	68	54	100.8	109.55	0	0
30/12	41	42	46	50	76.15	101.6	0	0
31/1	41	42	61	37	106.8	85.6	0	0
31/2	43	42	64	49	101.55	96.5	0	0
31/3	43	42	38	42	57.7	89.45	0	0
合計	43	42	695	545	1139.85	1227.4	0	1

## (2) 福祉有償運送

福祉有償運送実績データ

		H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H26 年度	H25 年度	H24 年度
登録自動車 数 ( ) は軽	公用車 (台)	8 (4)	8 (4)	8 (4)	9 (4)	10 (4)	9 (4)	7 (3)
	マイカー (台)	3 (2)	3 (2)	4 (2)	7 (2)	6 (2)	7 (2)	8 (3)
登録運転手 (人)		13	13	17	17	15	16	16
登録利用者 数 ( ) は重複	身体障害	10 (9)	8 (7)	10 (9)	4 (3)	8 (2)	8	10
	知的障害	43 (10)	41 (7)	43 (10)	44 (3)	44 (2)	44	42
	精神障害	1 (1)	0	2 (1)	0	1	1	2
運送実績	実走行距 離 (km)	11,537	16,132	19,472	22,149	22,185	24,591	26,746
	輸送回数 (回)	1,241	1,440	1,783	2,012	2,068	2,328	2,375
	輸送人員 (人)	1,241	1,255	1,814	2,442	2,111	2,442	2,423
	収受金額 (千円)	2,657	2,756	3,058	3,496	3,459	3,806	4,128
交通事故件 数		0	0	0	0	0	0	0

(注) 各年度とも年度末3月31日における数字

## 平成30年度 年間研修報告

技術指導等会議 年間計画(毎月第2又は第3月曜に開催)

主な概要(共通)		内容 (会議後記入)
4月	接遇、コミュニケーション	接遇、コミュニケーション
5月	防災訓練	後見人制度、ケース検討
6月	ケース検討	防災訓練、熱中症
7月	救急法	食中毒
8月	熱中症	ケース検討
9月	外部講師研修	支援と援助について
10月	ケース検討	精神障害について (外部講師)
11月	精神障害の理解	安全運転講習
12月	外部講師研修	救急法
1月	ケース検討	ケース検討
2月	時短料理	精神障害のリカバリー (外部講師)
3月	年間まとめ	各事業所への業務内容理解

## 平成 30 年度 外部研修まとめ

主な概要(共通)		内容 (会議後記入)
8月 23 日	面接の技術①	社会福祉協議会
8月 24 日	面接の技術②	社会福祉協議会
8月 24 日	高齢者福祉・介護保険制度の概要 難病・障がいに関すること	グルッポふじとう (ハートスクール)
10月 20 日	発達障害に関すること	障がい者支援センター
10月 25 日	口腔ケア・嚥下に関すること、 薬に関すること	グルッポふじとう (ハートスクール)
11月 29 日	認知高齢者的心のケア 栄養と感染症	春緑苑 (ハートスクール)
12月 14 日	医療職と介護職の連携	グリーンパレス春日井 (ハートスクール)
1月 24 日	介護記録の作成、介護技術	春緑苑 (ハートスクール)
2月 6 日	スキルアップ研修 緊急時の対応法	三幸カレッジ

## SKP 委員会(サービス向上プロジェクト)平成 30 年度事業報告

日	時間	内 容	発行物
1	4/18 10：30 12：30	SKP の 30 年度の活動について	SKP 新聞 4 月号 かわらばん 23 号
2	5/9 10：30 12：30	職員向けアンケート作成について	SKP 新聞 5 月号 かわらばん 24 号
3	6/13 10：30 12：30	内部研修の反省会	SKP 新聞 6 月号
4	7/12 10：30 12：30	SKP の今後について考える	SKP 新聞 7 月号 かわらばん 25 号
5	8/2 10：30 12：30	職員アンケート 杉田労務士に聞く	
6	9/13 10：30 12：30	事業所紹介の研修について 忘年会について	SKP 新聞 9 月号
7	10/11 10：30 12：30	忘年会開催について 「研修内容の確認」について	SKP 新聞 10 月号 かわらばん 26 号
8	11/8 10：30 12：30	「座談会」の感想、反省 忘年会の決定、案内 「大丸食堂」	SKP 新聞 11 月号
9	11/23 18：30	忘年会	
10	12/13 10：30 12：30	「各事業所を知る」研修会準備 忘年会の反省、次回座談会	SKP 新聞 12 月号 かわらばん 27 号
11	1/10 10：30 12：30	「各事業所を知る」研修会準備	SKP 新聞 1 月号
12	2/7 19：00 21：00	「各事業所を知る」研修会準備前	SKP 新聞 2 月号
13	3/8 7：00 9：00	「各事業所を知る」研修会最終打ち合わせ	SKP 新聞号外 研修のお知らせ
14	3/18 10：00 11：30	第 1 回「各事業所を知る」研修会・・・れば	

### 平成 31 年度について

けやきの家、けやきホームの業務の都合上、開催予定日は 2019 年 4 月 20 日、23 日に

「事業所紹介研修～けやき福祉会を知ろう～」を行う。(32 年度に持ち越し)

新入社員が入っても、「けやき福祉会」のことがわかる資料を作成。引き続き 31 年度完成に向けて始動する。

けやき福祉会全体の「報告、連絡、相談」の強化

歓迎会、忘年会等、コミュニケーションの取りやすい環境の発信を行っていきます。

## 平成30年度 こんぱす 活動の報告

### ① 方針についての振り返り

#### 【相談支援の質の向上に取り組む】

昨年度と同様、事業所内で模擬面接研修と事例検討会を計画して実施しました。聞き取りのスキルアップは定期的に練習が必要と感じています。事例検討会では事業所内のメンバーだけでは視点が偏るため、アドバイザーを依頼しました。どちらの研修も各々の「気づき」があり、それを共有することでまた新しい発見や次につながるアイデア（今度こういう質問をしてみよう、など）が生まれるものでした。

メンタルヘルスについての研修も予定していましたが、よい素材や講師がみつからず実現できませんでした。

事業所内研修以外では外部研修や自立支援協議会の部会、ネットワークに積極的に参加し、社会資源や制度の理解を深め、関係機関とのつながりをつくることに取り組んできました。微々たるものではありますが、知識や関係者とのつながりは広がってきたと思います。

#### 【新規利用者の受け入れ体制をつくる】

春日井市では平成30年8月から段階的に計画相談支援の義務付けの計画が出されました。今年度はグループホームと入所施設の利用者が義務付けの対象となるため、グループホーム利用者の新規受け入れを行いました。年度の後半に他のサービス利用者の受け入れを検討する予定でいましたが、人材を増やすことができないため体制を作ることが難しい状況でした。人材については勤務希望者がいましたが、今年度中に採用に至りませんでした。

#### 【収入の確保の取り組み】

今年度4月に報酬改定があり、いくつか加算が創設されました。「体制加算」の要件を満たす研修をうけ、9月から行動援護支援体制加算を取得しました。

#### 【その他取り組んだこと】

アセスメント時に必要な情報をもれなく聞き取りできるようテンプレートを用意し、実際に試しました。また、法人内で相談支援の仕事を伝える計画していましたが、法人内のプロジェクトで企画されることになったのでその場を借りて伝えることにしました。

また、利用者の氏名が記載された書類FAXの送信先を間違えてしまうことがありました。個人情報の取り扱い方法を今一度整理し、事務所内で掲示し、ミスのないよう確認しました。

### ② 一年を振り返って

4月に報酬改定があり、その内容の理解と業務のすすめ方にとまどう一年でした。

報酬改定では業務負担に応じた加算が設けられ、基本報酬単価が引き下げられました。（ただし今年度は施設入所利用者と新サービス利用者のみ適応）

加算内容はサービス利用時のように確認や福祉サービス以外の関係者との連携、入院時の情報提供、退院・退所支援などの業務に対して評価されるもので、これまでこんぱすで取り組んでいたこ

とのいくつかが評価される形になりました。しかし解釈によっては算定ができない状況も多々あり、現状の業務と国の求める業務の在り方にとまどいがありました。

また、こんばすでは行動援護の対象者が多くみえることから必要な研修を受講し、加算申請を行い、9月から「行動障害支援体制加算」を取得しました。

今回の改正では計画相談支援において柔軟なモニタリング期間の設定ができるようになりました。新生活をスタートされる1名の方のモニタリング期間を3か月ごとに設定して支援させていただきました。現状では頻回に相談や連絡のあるケースがありますが、不安や心配ごとの傾聴や基本相談が主のためモニタリング回数を増やしてその都度報告書を作ることは現実的ではない状況もありました。

### ③ 業務実績の報告

#### 【契約利用者】 平成31年3月末現在

計画相談支援	障がい児相談支援
72名	5名

- 1) 新規契約者数 6名 (計画相談支援 4名 障がい児相談支援 2名)
- 2) 契約終了者数 3名 (他の相談支援事業所へ1名 福祉サービス終了のため1名 死去1名)  
※障がい児相談支援から計画相談支援に移行した件数は含まない。
- 3) 障がい種別 (手帳種別)  
療育 47名 身体 5名 精神 4名 療育+身体 18名 療育+精神 2名 未診断 1名
- 4) 在宅・通所サービス利用者 68名 施設入所サービス利用者 9名

#### 【相談支援の実績】

サービス利用支援	継続サービス利用支援	障がい児支援利用援助	継続障がい児支援利用援助
61件	130件	7件	12件

サービス提供モニタリング加算	医療・保育・教育機関等連携加算	入院時情報連携加算	退院・退所加算	サービス担当者会議実施加算	初回加算	行動障害支援体制加算
51件	3件	4件	1件	1件	1件	99件

#### 【研修・会議】

こんばす内研修・会議	10回 (研修3回、会議7回)
外部研修・ネットワーク等参加	22回 (外部研修5回 法人内研修1回 ネットワーク会議11回 相談支援連携部会5回)

※複数人で参加した研修は1回とする。

### 【春日井市地域自立支援協議会の部会への参加】

#### ① 相談支援連携部会（全体会）

指定特定相談支援事業所と障がい者支援センターの相談員が集まる場です。今年度は5回開催され、障がい福祉サービスや年金、介護保険の勉強会、病院の医療連携室との意見交換会がありました。

#### ② 子ども部会OBとしての参加

今年度から障がい児に関わる事業所の連絡会を立ち上げすることとなり、こども部会のOBとして会議参加や交流会などの企画準備の協力をしました。

以上